

保健管理センター年報

第11号

1988. 3

岐阜大学保健管理センター

目 次

ま え が き	岐阜大学保健管理センター所長	1
I 健康管理業務		3
1. 学生の健康管理		3
1) 昭和61年度学生の保健管理業務計画		3
2) 昭和61年度学生定期健康診断実施計画		4
3) 昭和61年度学生定期健康診断実施結果		6
4) 昭和61年度卒業予定者（修了予定者）及び体育系サークル部員健康診断実施計画		10
5) 昭和61年度卒業予定者（修了予定者）及び体育系サークル部員健康診断実施結果		11
6) 健康管理カード、UPIによる新入生健康調査・個別面接		12
7) 昭和61年度学部入学生健康調査・個別面接実施結果		14
8) 昭和60・61年度入学生の健康管理カードによる健康調査の集計結果		15
9) 入学志願者の健康診断		23
10) 昭和61年度休学・退学・除籍者数調べ		26
2. 職員の健康管理		27
1) 昭和61年度職員健康診断業務計画		27
2) 昭和61年度職員一般定期健康診断実施計画		28
3) 昭和61年度職員肝機能検査及び胃の集団検診実施計画		29
4) 昭和61年度職員一般定期健康診断実施結果		30
5) 昭和61年度職員特別定期健康診断実施計画		31
6) 昭和61年度職員特別定期健康診断実施結果		42
3. 昭和61年度保健管理施設利用状況		44

II 「健康のしおり」の発刊について	52
糖尿病 — 治療について — その2	53
III 研究報告	58
自殺学生の検討 II 岐阜大学保健管理センター 田中實教授・中尾けさじ保健婦	58
IV 保健管理センター規則等	69
1) 岐阜大学保健管理委員会規則	69
2) 岐阜大学保健管理センター規則	70
3) 保健管理機構略図	72
4) 学校医及び学生相談室員の相談日割	73
5) 関係職員	74
6) 建物平面図	77
7) 主要設備備品	78
(参 考)	81
昭和61年度学生教育研究災害傷害保険加入状況	81
昭和61年度学生健康保険互助会加入状況	81
学生教育研究災害傷害保険適用一覧	82
保健管理センター位置図	84

ま え が き

岐阜大学保健管理センター所長 武藤泰敏

昭和62年度も残り少なくなり、そろそろ本年度の仕事内容についてふり返ってみるべき時期となった。岐阜大学保健管理センターにおいても、毎年この時期には、センター活動の総決算として前年度の健康管理業務の概要を中心に「保健管理センター年報」を発行している。本冊子はその第11号であり、前号と同様 I. 健康管理業務、II. 「健康のしおり」の発刊について、III. 研究報告、IV. 保健管理センター規則等より構成されている。

本センターは昭和49年10月に岐阜大学に開設されており、今年で13年の歴史をもつことになり、センター年報も昭和51年の創刊以来、号を重ねて本号がその第11号となった。過去の年報内容をみると、本センターの「学生及び職員の心身の健康の保持増進を図る」という趣旨から当然のことではあるが、学生・職員の健康診断結果の報告、「精神衛生活動」についてや「肥満学生」についての研究報告等が中心となっており、当初から本センターの活動内容には大きな変化はみられていないようである。一般的には何れの分野においても、一つの時代に要求される事柄は時間の経過とともに変遷するのが通常であり、その流れを理解することは重要である。本センターにおいても、その役割は時代とともに変わっていくと考えられ、本センターの将来の展望を考えてみることは、現在の日常活動を行っていく上でも意味のあることであろう。

ところで、現在の世相をみると、週休2日制が官公庁、各企業で定着しつつあり個人の自由時間が増え、各種の趣味のサークル、カルチャーセンターは賑わっているようである。これらの社会現象の基礎には「Quality of Life の向上」があり、現代の社会は個人の生活の質の向上を目指す段階に入りつつあると考えられる。勿論、「Quality of Life の向上」の重要な要素として、個人の健康状態の保持・増進が不可欠なのは明らかであるが、実際「健康」についての社会的関心は高く、薬局や百貨店の「健康食品」のコーナーには多数の商品が並び、書店にも「健康」に関する書籍は

多い。しかしながら、「健康食品」の多くは、その科学的裏づけが不明確であるし、書籍についても、各々の立場で著述されており、内容的には種々のものが氾濫しているようである。観点を換えれば、社会は健康の保持・増進のための Know-how を模索しているとも言えよう。個人にとって健康維持の方策・手段は、その個人の基礎体力や年代に応じたものであることが望ましく、その点から、体力差や年齢的な要素も包括した、すべての人に役立つ健康保持のための方法論の確立が期待されている。また医療分野においては、現時点では有効な治療法のない AIDS の問題、老人医療問題などから、従来の保健診療体制上の治療学を中心とする医療では解決し難い状況が出現し、疾病を予防する予防医学、さらには健康状態を保持増進する立場に立った医療への転換が求められている。現在、予防医学、老年医学、運動（スポーツ）医学など比較的新しい学問が注目されており、医療も徐々にその方向を目指しているといえる。将来的には、これらの学問も含め、健康状態の保持・増進を目的とする学問、いわば「健康学」が確立され体系化されて、個人の健康管理面などから広く一般に利用できるようになるのが望ましい姿といえよう。

さて、大学の社会的役割の一つに、学生に大学教育を通じて、社会人になった時点において役立つ基礎的知識・技術や考え方を修得させることがある。本保健管理センターも、岐阜大学の一機関として「健康のしおり」にもみられるように、基礎的な健康教育に力を入れている。将来的には、さらに一歩進み前述の「健康学」の確立、体系化に積極的に関わり、学生・職員の方々が、より系統立った健康教育機関として利用できる有用で活発な研究機関としての方向を目指すのが望ましいと考えられよう。現時点ではセンター教官の定員不足など、いくつかの問題があり、主として体制面での整備が必要であろう。と同時に、より重要なことは、現在の日常活動を地道に積み重ねることである。幸い昨年度の年報第10号でも触れたように、現在の本センターの業務内容は、センター職員および関係各位の御協力により、一応満足すべきものとなっているが、現状に満足することなく、より良い方向を目指す必要がある。

やや具体性に乏しい内容になったが、岐阜大学保健管理センターの将来的展望を含めて、現時点における考えを述べてみた。最後に、学生・職員の方々には、本センターの利用等についてお気付きの点があれば、遠慮なく御指摘願いたい。本センターを学生・職員の方々の声を反映した親しみのもてる、より有用な施設にしていきたいと考えている。

I 健康管理業務

1. 学生の健康管理

1) 昭和61年度学生の保健管理業務計画

区分	対象者	実施期間	検査項目等	備考
健康調査及び個別面接	新入生	入学後	健康管理カード及びUPI(5A)による健康調査及び粗面接	
	精密面接者	4月下旬～6月上旬	精密面接、内科診察、心電図、血圧測定、貧血検査、尿検査	
定期健康診断	学部学生 大学院生 短期大学 重慶障害教育専攻科 教職員 農業者 全別科 (5,325人)	4月中旬～5月下旬	内科診察 X線間接撮影 身体計測(身長、体重)、視力測定 尿検査(蛋白、糖) 健康管理カードによる既応症	
定期健康診断 (精密検査)	要再検・精検者	4月下旬～6月下旬	X線直接撮影、赤沈、心電図、尿検査、血圧測定、内科診察	
臨時健康診断	卒業予定者	10月上旬～中旬	尿検査(蛋白、糖)、血圧測定	
	体育系サークル部員	10月中旬	内科診察、尿検査(蛋白、糖)、血圧測定	
精密検査	要再検・精検者	10月中旬～下旬	X線直接撮影、赤沈、心電図、尿検査、血圧測定、内科診察	
	継続観察者	随時	内科診察、X線直接撮影、赤沈、尿検査、血圧測定、心電図	
特別健康診断	放射線取扱者	随時	血液の検査、皮膚の検査	
	特定有害薬品使用者	5月・11月	自覚症状等の検査、口腔及び皮膚の検査、血液の検査、尿の検査、肺臓の検査、肺活量の検査等	

2) 昭和61年度学生定期健康診断実施計画

月日	曜日	対象	対象人員	検査区分	実施場所	実施時間	担当 医師数	センター 医 師	学外医師	医学部 医 師	看護婦数	担当看護 婦 名	備 考
4. 15	火	教育学部学生(4年生)	350	定期健診	保健管理センター	13:00~16:30	4	1	1	2	5		定期健診
16	水	" (")	該当者	再 検	"	9:00~11:00							内科診察
"	"	医学部学生(全員)	350	定期健診	医学部保健管理センター	12:00~14:00	4	2		2	2		胸部X線間接撮影
17	木	教育学部学生(4年生他)	該当者	再 検	"	9:00~11:00							尿検査 学生全員
"	"	医学部教職員	350	定期健診	医学部	13:00~16:30	4	1		3	5		職員35才以上
18	金	"	350	"	"	"	4	1		3	5		血圧測定
22	火	工学部学生(4年生、大学院生)	400	"	保健管理センター	"	4	1	1	2	5		(職員のみ35才以上)
23	水	" (")	該当者	再 検	"	6:00~11:00							身体計測
"	"	工業短大学生(全員)	400	定期健診	"	17:30~20:30	5	2		3	5		視力測定
24	木	農学部学生(4年生、大学院生)	300	"	"	13:00~16:30	3	1	1	1	5		
25	金	" (")	該当者	再 検	"	9:00~11:00							再検査
5. 7	水	教養部学生 (教育学部1.2年生女子全員)	400	定期健診	"	13:00~16:30	4	2	1	1	5		血圧測定
8	木	" (")	該当者	再 検	"	9:00~11:00							尿検査
9	金	" (")	"	"	"	"							
"	"	教育学部学生(3年生)	370	定期健診	"	13:00~16:30	4	1		3	5		精密検査
12	月	" (")	該当者	再 検	"	9:00~11:00							内科診察
13	火	工学部学生(3年生)	350	定期健診	"	13:00~16:30	4	1	1	2	5		心電図
14	水	教養部学生 (教育学部1.2年生男子全員)	400	"	"	"	4	2	1	1	5		血液検査
15	木	" (")	該当者	再 検	"	9:00~11:00							胸部X線直接撮影
16	金	" (")	"	"	"	"							血糖検査
"	"	工学部学生(3年生)	"	"	"	"							
"	"	農学部学生(3年生他)	230	定期健診	"	13:00~16:30	3	1		2	5		
19	月	" (")	該当者	再 検	"	9:00~11:00							
20	火	柳戸地区教職員	400	定期健診	"	13:00~16:30	4	1	1	2	5		
21	水	教養部学生 (医、農学部1.2年生男子全員)	400	"	"	"	4	2	1	1	5		
22	木	" (")	該当者	再 検	"	9:00~11:00							
23	金	柳戸地区教職員	400	定期健診	"	13:00~16:30	4	1		3	5		
"	"	教養部学生	該当者	再 検	"	9:00~11:00							
26	月	柳戸地区教職員	"	"	"	"							
27	火	"	"	"	"	"							
28	水	教養部学生(工学部2年生男子)	400	定期健診	"	13:00~16:30	4	2	1	1	5		
29	木	" (" ")	該当者	再 検	"	9:00~11:00							
30	金	" (" ")	"	"	"	"							
6. 4	水	" (工学部1年生男子)	400	定期健診	"	13:00~16:30	4	2	1	1	5		
5	木	" (" ")	該当者	再 検	"	9:00~11:00							
6	金	" (" ")	"	"	"	"							
"	"	医学部教職員及び学生	"	"	医学部	"							
20	"	医学部教職員及び学生 (X線直接撮影)	"	精 検	"	10:00~12:00							
"	"	柳戸地区教職員及び学生 (X線直接撮影)	"	"	保健管理センター	13:00~16:00							

3) 昭和61年度学生定期健康診断実施結果

区分 学部等	年次	在学人数	休学者数		対象者数 人	受検者数 人	受検率 %	未受検者数 人	胸部エックス線撮影							受診者数	
			疾病によるもの 人	疾病以外によるもの 人					要撮影者数 人	直接撮影者数				要 血 沈 数			
										間接結果によるもの 人	内科診察によるもの 人	継続観察者数 人	要観察者数(継続) 人		要精密検査者数 人		未受検者数 人
教養部	1	1,011	1	3	1,007	821	81.5	186	821	3			3				821
	2	1,098	1	9	1,088	649	59.7	439	649	1			1				649
	計	2,109	2	12	2,095	1,470	70.2	625	1,470	4			3	1			1,470
教育学部	3	340			340	290	85.3	50	290	1	2	1	1(1)	1(1)			290
	4	360		2	358	331	92.5	27	331	1			1(1)				331
	計	700		2	698	621	89.0	77	621	2	2	1	2(2)	1(1)			621
医学部	1	81			81	68	84.0	13	65		1	1					68
	2	102			102	59	57.8	43	55								56
	3	78			78	37	47.4	41	37								35
	4	86	1		85	47	55.3	38	46								44
	計	347	1		346	211	61.0	135	203		1	1					203
工学部	3	336		1	335	244	72.8	91	244	1	1		2				244
	4	395		12	383	321	83.8	62	321	3			3				321
	計	731		13	718	565	78.7	153	565	4	1		5				565
農学部	3	228			228	201	88.2	27	201	1	1		1		1		201
	4	216		6	210	198	94.3	12	198								198
	計	444		6	438	399	91.1	39	399	1	1		1		1		399
小計		4,331	3	33	4,295	3,266	76.0	1,029	3,258	10	2	4	10	4(3)	1(1)	1	3,258
工業短期 大学部	1	193		3	190	178	93.7	12	178								178
	2	185		4	181	126	69.6	55	126								126
	3	248	2	25	221	113	51.1	108	113								113
	計	626	2	32	592	417	70.4	175	417								417
合計		4,957	5	65	4,887	3,683	75.3	1,204	3,675	10	2	4	10	4(3)	1(1)	1	3,675

内科診察 要再診察者数	再診察結果	検査件数					尿検査																	
		聴打診結果によるもの 間接撮影結果によるもの 数	正常者数	要観察者数	要精密検査者数	要治療者数	未受診者数	内科診察 数	心電 図 測 定 数	血圧 測 定 数	血液 検査 数	医療 機関 依頼 数	その他 数	受検者 数	蛋白質				糖					
															要再検者数	再検結果			要再検者数	再検結果			血糖検査 件数	
																正常者数	要観察者数	要治療者数		未受検者数	正常者数	要観察者数		要治療者数
10	1	9			1		11	9	9	1	2		821	42	30	12			1	1			1	
4		3	1				4	4	4		2		649	27	18	7		2	1	1			1	
14	1	12	1	1			15	13	13	1	4		1,470	69	48	19		2	2	1	1		2	
													290	10	7	1		2						
													331	11	6	4	1							
													621	21	13	5	1	2						
													68	3	1			2	2	1			1	
													59											
													37	1				1						
													47	2	1	1								
													211	6	2	1		3	2	1			1	
4		3	1				4	3	3	1	2		244	10	7	2		1	2	1	1		1	
1	3	3	1				4	1	1		3		321	11	9	2		1		1				
5	3	6	2				8	4	4	1	5		565	21	16	4		1	3	1	2		1	
5		3	2				5	3	4				201	6	4	2								
1		1					1	1	1				198	8	4	4			1	1				
6		3	3				6	4	5				399	14	8	6			1	1				
25	4	21	5	1			29	21	22	2	9		3,266	131	87	35		1	8	8	4	3	1	3
1							1	1	1				178	11	7	1		3						
1		1	1								1		126	3	2			1						
3		1	1				1	1	1		1		113	1	1									
5		1	2	1			2	2	2		2		417	15	10	1		4						
30	4	22	7	2	1		31	23	24	2	11		3,683	146	97	36		1	12	8	4	3	1	3

区分 学部等	年次	休学者数		対象者数	受検者数	受検率%	未受検者数	胸部エックス線撮影						受診者数				
		疾病によるもの	疾病以外によるもの					要撮影者数	直接撮影者数									
									要直接撮影者数	要精密検査者数	要治療者数(継続)	未受検者数	要観覧者数(継続)					
															要正常者数	要精密検査者数	要治療者数	未受診者数
医学研究科	1	18		18	4	22.2	14	4						4				
	2	10		10	2	20.0	8	2						2				
	3	6		6	2	33.3	4	2						2				
	4	11		11	1	9.0	10	1						1				
	計	45		45	9	20.0	36	9						9				
工学研究科	1	89		89	75	84.3	14	75						75				
	2	72	1	71	70	98.6	1	70						70				
	計	161	1	160	145	90.6	15	145						145				
農学研究科	1	60		60	57	95.0	3	57						57				
	2	62	2	60	55	91.7	5	55						55				
	計	122	2	120	112	93.3	8	112						112				
合計	328	3	325	266	81.8	59	266							266				

重複障害教育 教員養成課程	11		11	11	100.0		11							11
教育専攻科	1		1	1	100.0		1							1
教育学部 研究生			1	1	100.0		1							1
農業別科	1		1	0	-		1							
農学部研究生														
合計	13		14	13	92.9		13							13

(注) () 書は継続観察・治療者数を内数で示す。

内科診察 要再診察者数	再診察結果	検査件数							尿 検 査										
		内 科	心 電	血 圧 測 定	血 液 検 査	医 療 機 関 依 頼 数	そ の 他	受 検 者 数											
								要 観 察 者 数	要 精 密 検 査 者 数	要 治 療 者 数	未 受 診 者 数	再 検 結 果							
												正 常 者 数	要 観 察 者 数	要 治 療 者 数	未 受 検 者 数	糖 検 査			
																要 再 検 査 者 数	正 常 者 数	要 観 察 者 数	要 治 療 者 数
								4											
								2	1	1									
								2											
								1											
								9	1	1									
2	1	1					1	1	1	2		75	3	2	1		1	1	
1	1						1	1	1			70	3	3					
3	2	1					2	2	2	2		145	6	5	1		1	1	
												57	4	3		1	1	1	
												55							
												112	4	3		1	1	1	
3	2	1					2	2	2	2		266	11	9	1	1	2	1	1

																				11
																				1
																				1
																				13

4) 昭和61年度卒業予定者（修了予定者）

及び体育系サークル部員健康診断実施計画

1. 日 程

月日	曜日	実施時間	対 象 学 生	対 象 人 員	実施場所
9.10	水	12:00~14:00	医学部卒業予定者及び運動部所属学生健診	300人	医 学 部
11 ┌ 19	木 ┌ 金	8:30 ~ 16:30	医学部卒業予定者及び運動部所属学生再検	該当者	保健管理 センター
10.14	火	13:00~15:00	農学部卒業予定者健診	250人	〃
15	水	13:00~15:00	柳戸地区運動部所属学生健診	900人	〃
16	木	13:00~15:00	工学部卒業予定者健診	400人	〃
17	金	9:00~11:00	柳戸地区運動部所属学生再検	該当者	〃
20	月	9:00~11:00	農学部卒業予定者再検	〃	〃
21	火	9:00~11:00	工学部卒業予定者再検	〃	〃
22	水	17:30~19:00	工業短期大学部卒業予定者健診	150人	〃
28	火	13:00~15:00	教育学部卒業予定者健診	360人	〃
29	水	9:00~11:00	教育学部卒業予定者再検	該当者	〃
11.12	水	17:00~19:00	工業短期大学部卒業予定者再検	〃	〃

2. 検査項目及び内科診察

- (1) 血圧測定 全員検査
- (2) 尿 検 査（蛋白・糖） 全員検査
- (3) 内科診察 運動部所属学生のみ

5) 昭和61年度卒業予定者(修了予定者)及び体育系サークル部員健康診断実施結果

区	分	在 学 生 数	休 学 者 数	对 象 者 数	受 検 者 数	受 検 率 %	血 压			尿 蛋 白			尿 糖					
							要 再 検 者 数	再 検 結 果		再 検 未 受 検 者	要 再 検 者 数	再 検 結 果		再 検 未 受 検 者	要 再 検 者 数	再 検 結 果		
								正 常	要 観 察			要 治 療	正 常			要 観 察	要 治 療	
卒 業 予 定 者	教育学部	359	5	349	293	84.0	11	10	1		15	11	4					
	医学部	86	1	85	24	28.2	9	2		7	3	3						
	工学部	392	3	303	210	69.3	11	10	1		7	4	3					
	農学部	212	2	210	184	87.6	6	5	1		5	3	2					
	計(1)	1,049	11	947	711	75.1	37	27	3	7	30	21	9					
	医学研究科	11	0	11	0	0	-											
	工学研究科	72	0	72	60	83.3	7	7			2	2						
	農学研究科	62	1	58	45	77.6	1	1										
	計(2)	145	1	141	105	74.5	8	8			2	2						
	工業短期大学部(3)	234	28	206	71	34.5	5	5			1	1						
	小計(A) (1)+(2)+(3)	1,428	40	1,292	887	68.5	50	40	3	7	33	24	9					2 2
	重複障害教育 教員養成課程	11	0	11	3	27.3	-											
	教育専攻科	1	0	1	1	100.0	-											
	農業別科	1	0	1	0	0	-											
	計(B)	13	0	13	4	30.8	-											
	柳戸地区			796	131	16.5	5	4	1		5	3	1					1
	司地区			167	53	31.7	11	6		5	3	1						2
	計(C)			963	184	19.1	16	10	1	5	8	4	1					3
	合計(A)+(B)+(C)	1,441	40	2,270	1,075	47.4	66	50	4	12	41	28	10					3 2 2

6) 健康管理カード・UPIによる新入生健康調査・個別面接

新入生の健康調査・保健管理、特に精神健康管理について：昭和42年度から新入生全員を対象とした個別面接を、定期健康診断の一環として、教育学部・教養部の心理学等担当教官、医学部・附属病院の精神医学等担当教官・医師の協力を得て実施してきたが、昭和53年度から実施方法・時期・要再接の判定基準などを変更し、新入生全員の健康状態の把握、精神不安定・不健康な者の早期発見、それらの早期の対処、更に積極的に不健康の予防、人格的発達への寄与などを目的に、健康調査・個別面接として継続実施している。

要領：入学式の当日学生に配布し、記入させた保健管理カード(資料1)・UPI(資料2)を保健管理センターへ本人に持参させ、提出時にそれらを資料として、1人4～5分程度の面接を行い、各人の心身の健康状態を調査し、集団生活・修学上の諸問題について適切な指導・助言を与え、更に保健管理センターの組織・機能について説明し同センターの利用を勧める。

面接・調査の結果、更に詳しく診察・検査・面接を要すると判定された者については、早い時期(定期健康診断実施前から実施中)に事後措置・再接を行う。

要再接の判定基準：健康管理カード(資料1)の自覚症状・既往歴・その他の記載事項、UPI(資料2)の30項目以上肯定したもの、25・34・49・55番の項目を肯定したもの、備考欄に相談したいとか、気になることの記載の有るもの及び面接時の印象などの総合判定による。

面接・調査は、保健管理センターの保健管理医(精神科医・内科医)、学校医(保健管理センター非常勤講師)、保健婦・看護婦が担当する。

資料1

整理番号 **62** 教・工 —
医・農 —

健康管理カード		学部	氏名	性別	男・女
		学科	生年月日	昭和	運動部名

健康調査

次の項目で該当するものに○印を、該当しないものに×印をつけてください。

項目	回答欄	項目	回答欄
1. よく風邪をひく		8. めまい・立ちくらみがすることがある	
2. ひどい寝汗をかくことがある		9. 息苦しくなって困ることがある	
3. 口が渇くことがある		10. 疲れやすく元気がない	
4. 顔や下肢がむくむことがある		11. 手足のつることがある	
5. おなかをよくこわす		12. めだって体重が増減したことがある	
6. よく便秘する		13. 関節・腰などに痛みを感じることがある	
7. 頭が重かったり痛んだりすることがある		14. 薬剤使用後に熱や発疹が出たり、気分が悪くなったことがある(例：ペニシリン・サルファ剤)	
身内に脳卒中で亡くなった者がある		身内に結核の者がいる	
身内に結核で亡くなった者がある		身内にがんの者がいる	
身内にがんで亡くなった者がある		身内に糖尿病の者がいる	
身内に高血圧の者がいる		身内に肝臓病の者がいる	
血液は何型ですか	A, B, O, AB(RH +, -)	中・高校時代疾病により長期欠席(3か月以上)したことがある	
ツベルクリン反応	陽性・疑陽性・陰性(年 月 陽転)	色覚異常の有無及び程度	無・有()

次のような病気にかかったことがあれば、何歳の時か記入してください。

1. 肺結核	歳	2. その他の結核	歳	3. 心疾患	歳	4. 腎疾患	歳	5. 肝疾患	歳
6. 気管支喘息	歳	7. 貧血	歳	8. リウマチ	歳	9. 小児まひ	歳	10. てんかん	歳
11. ノイローゼ	歳	12. 精神神経疾患	歳	13. 交通事故による疾患	歳	14. その他()			歳

資料 2

学籍番号

岐 阜 大 学

記載年月 昭和 年 月

ふりがな 氏名	男 女	昭和 年 月 日	学 部	学 科	出身高校 出身大学	高校 大学, 卒業, 中退
現住所(〒) (TEL) ()	() (方)	自宅	下宿	学寮	その他	
父兄住所 (〒) (TEL) ()	() (氏名)	続柄				
家 族		実父 () 実母 () 実弟 () 実妹 ()		才 (健・否) 才 (健・否)		才 (健・否) 才 (健・否)
		兄 (同居の)		父 (同居の)		人, 妹 人, 才
		義父母又は継父母				有・無

下記の質問は多くの人々が、しばしば経験することを列挙したもので、これは、あなたの健康の理解と増進のための調査です。番号順によく読んで、あなたが最近1年位の間に、ときどき感じたり、経験したりしたことのある項目の番号に、軽い気持ちで○印を、ない項目の番号には×印を書いて下さい。これは、あなた個人のごことで、他人にもらせたり、上の目的以外に使うことは決してありませんから、安心してありのままに書いて下さい。書き終わったら、もう一度よく読んで、書き落しがないか、また、氏名など記入したか、確かめて下さい。(所要時間は10分間程度)

◎ 提出は4月8日、9日、10日、11日の間に、保健管理センターへ健康管理カードと共に本人が持参し提出すること。

(秘) U. P. I. (A 5)

- | | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|---------------------|
| 1. 食欲がない | 16. 不眠がちである | 31. 赤面して困る | 46. 体がだるい |
| 2. 吐気、胸やけ、腹痛がある | 17. 頭痛がする | 32. 吃ったり、声かふるえる | 47. 気になると冷汗が出やすい |
| 3. わけもなく便秘や下痢がしやすい | 18. 頸すじや肩がこる | 33. 体がほてったり、冷えたりする | 48. めまいや立ちくらみがする |
| 4. 動悸や脈が気になる | 19. 胸が痛んだり、しめつけられる | 34. 排尿や性器のことが気になる | 49. 気を失ったり、ひきつけたりする |
| 5. いつも体の調子がよい | 20. いつも活動的である | 35. 気分が晴るい | 50. よく他人に好かれる |
| 6. 不平や不満が多い | 21. 気が小さすぎる | 36. なんとなく不安である | 51. こだわりすぎる |
| 7. 親が期待しすぎる | 22. 気疲れする | 37. 独りでいるとおちつかない | 52. くり返し、たしかめないと苦しい |
| 8. 自分の過去や家庭は不幸である | 23. いらいらしやしい | 38. ものごとに自信をもてない | 53. 汚れが気になって困る |
| 9. 将来のことを心配しすぎる | 24. おこりっぽい | 39. 何事もためらいがちである | 54. つまらぬ考えがとれない |
| 10. 人に会いたくない | 25. 死にたくなる | 40. 他人にわるくとられやすい | 55. 自分のへんな匂いが気になる |
| 11. 自分が自分でない感じがする | 26. 何事も生き生きと感ぜられない | 41. 他人が信じられない | 56. 他人に陰口をいわれる |
| 12. やる気が出てこない | 27. 記憶力が低下している | 42. 気をまわしすぎる | 57. 周囲の人が気になって困る |
| 13. 悲観的になる | 28. 根気が続かない | 43. つきあいが嫌いだである | 58. 他人の視線が気になる |
| 14. 考えがまとまらない | 29. 決断力がない | 44. ひげ目を感じる | 59. 他人に相手にされない |
| 15. 気分が波がありすぎる | 30. 人に頼りすぎる | 45. とりこし苦労をする | 60. 気持が傷つけられやすい |

その他、自分の気になることがあったら、記入して下さい。
上記について相談をしたいと思えますか。 1. はい (すぐに・そのうちに) 2. いいえ 3. その他 ()

※ 保健管理センター(学生相談室)では、あなたの方の心身の健康増進のため相談に応じていますので、利用して下さい。

7) 昭和61年度学部入学生の健康調査・個別面接実施結果

区 分	教育・医・工・農学部	工業短期大学部
入 学 者 数	1,012 人	193 人
受 検 者 数	994 人	190 人
受 検 率	98.2 %	98.4 %
要 再 面 接 者 数	165 人	26 人
要 再 面 接 率	16.6 %	13.7 %
再 面 接 受 検 者 数	157 人	23 人
再 面 接 受 検 率	95.2 %	88.5 %

8) 昭和60・61年度入学生の健康管理カードによる健康調査の集計結果

(教育・医・工・農学部)

1. 自覚症状 (男子)

自覚症状	60年度		61年度		計	
	訴えた 学生数 a	率 (%) $\frac{a}{667}$	訴えた 学生数 a	率 (%) $\frac{a}{682}$	訴えた 学生数 a	率 (%) $\frac{a}{1,349}$
1. よく感冒をひく	118	17.7	125	18.3	243	18.0
2. ひどい寝汗をかくことがある	34	5.1	19	2.8	54	0.4
3. 口が渇くことがある	121	18.1	110	16.1	231	17.1
4. 顔や下肢がむくむことがある	13	1.9	10	1.5	23	1.7
5. おなかをよくこわす	164	24.6	166	24.3	330	24.5
6. よく便秘する	29	4.3	33	4.8	62	4.6
7. 頭が重かったり痛んだりすることがある	101	15.1	106	15.5	207	15.3
8. めまい・立ちくらみがあることがある	196	29.4	188	27.6	384	28.5
9. 息苦しくなって困ることがある	15	2.2	17	2.5	32	2.4
10. 疲れやすく元気がない	54	8.1	48	7.0	102	7.6
11. 手足のつることがある	100	15.0	120	17.6	220	16.3
12. めだって体重が増減したことがある	39	5.8	32	4.7	71	5.3
13. 関節・腰などに痛みを感じるがある	98	14.7	105	15.4	203	15.1
14. 薬剤使用後に熱や発疹が出たり、気分が悪くなったことがある	14	2.1	9	1.3	23	1

昭和60・61年度入学生の健康管理カードによる健康調査の集計結果

(教育・医・工・農学部)

1. 自覚症状 (女子)

自覚症状	60年度		61年度		計	
	訴えた 学生数 a	率 (%) $\frac{a}{308}$	訴えた 学生数 a	率 (%) $\frac{a}{312}$	訴えた 学生数 a	率 (%) $\frac{a}{620}$
1. よく感冒をひく	56	18.2	74	23.7	130	21.0
2. ひどい寝汗をかくことがある	4	1.3	2	0.6	6	0.1
3. 口が渇くことがある	29	10.1	47	15.1	76	12.3
4. 顔や下肢がむくむことがある	14	4.5	18	5.8	32	5.2
5. おなかをよくこわす	56	18.2	68	21.8	124	20.0
6. よく便秘する	77	25.0	73	23.4	150	24.2
7. 頭が重かったり痛んだりすることがある	81	26.3	81	26.0	162	26.1
8. めまい・立ちくらみがすることがある	110	35.7	126	40.4	236	38.1
9. 息苦しくなって困ることがある	9	2.9	4	1.3	13	2.1
10. 疲れやすく元気がない	20	6.5	19	6.1	39	6.3
11. 手足のつることがある	38	12.3	62	19.9	100	16.1
12. めだって体重が増減したことがある	24	7.8	23	7.4	47	7.8
13. 関節・腰などに痛みを感ずることがある	57	18.5	61	19.6	118	19.0
14. 薬剤使用後に熱や発疹が出たり、気分が悪くなったことがある	16	19.3	10	3.2	26	4.2

2. 既往症 (男子)

既往症名	60年度		61年度		計	
	学生数 a	率(%) $\frac{a}{667}$	学生数 a	率(%) $\frac{a}{682}$	学生数 a	率(%) $\frac{a}{1,349}$
1. 肺結核	1	0.1	2	0.3	3	0.2
2. その他						
3. 心疾患	3	0.4	9	1.3	12	0.9
4. 腎疾患	10	1.5	12	1.8	22	1.6
5. 肝疾患	3	0.4	5	0.7	8	0.6
6. 気管支喘息	32	4.8	32	4.7	64	4.7
7. 貧血	21	3.1	14	2.1	35	2.6
8. リウマチ	4	0.6	1	0.1	5	0.4
9. 小児マヒ			1	0.1	1	0.1
10. てんかん						
11. ノイローゼ						
12. 精神神経疾患	1	0.1	1	0.1	2	0.1
13. 交通事故による疾患	6	0.9	10	1.5	16	1.2
14. その他	38	5.7	64	9.4	102	7.6

2. 既往症 (女子)

既往症名	60年度		61年度		計	
	学生数 a	率(%) $\frac{a}{308}$	学生数 a	率(%) $\frac{a}{312}$	学生数 a	率(%) $\frac{a}{620}$
1. 肺結核			1	0.3	1	0.2
2. その他			1	0.3	1	0.2
3. 心疾患	1	0.3	3	1.0	4	0.6
4. 腎疾患	1	0.3	3	1.0	4	0.6
5. 肝疾患	1	0.3	2	0.6	3	0.5
6. 気管支喘息	1	0.3	8	2.6	9	1.5
7. 貧血	21	6.8	15	4.8	36	5.8
8. リウマチ	1	0.3			1	0.2
9. 小児マヒ						
10. てんかん			1	0.3	1	0.2
11. ノイローゼ			1	0.3	1	0.2
12. 精神神経疾患			1	0.3	1	0.2
13. 交通事故による疾患	4	1.3	1	0.3	5	0.8
14. その他	13	4.2	23	7.4	36	5.8

3. 自覚症状の数（男子）

自覚症状の数	60年度		61年度		計	
	学生数	率(%)	学生数	率(%)	学生数	率(%)
0	219	32.8	217	31.8	436	32.3
1	154	23.1	172	25.2	326	24.2
2	132	19.8	127	18.6	259	19.2
3	62	9.3	76	11.2	138	10.2
4	60	9.0	53	7.8	113	8.3
5	17	2.5	19	2.8	36	2.7
6	10	1.5	7	1.0	17	1.3
7	7	1.1	5	0.7	12	0.9
8以上	6	0.9	6	0.9	12	0.9
計	667	100.0	682	100.0	1,349	100.0

3. 自覚症状の数（女子）

自覚症状の数	60年度		61年度		計	
	学生数	率(%)	学生数	率(%)	学生数	率(%)
0	82	26.6	68	21.8	150	24.2
1	74	24.1	77	24.7	151	24.4
2	62	20.1	64	20.5	126	20.3
3	37	12.0	37	11.9	74	11.9
4	19	6.2	28	9.0	47	7.6
5	19	6.2	20	6.4	39	6.3
6	6	1.9	7	2.2	13	2.1
7	6	1.9	4	1.3	10	1.6
8以上	3	1.0	7	2.2	10	1.6
計	308	100.0	312	100.0	620	100.0

昭和60・61年度入学生の健康管理カードによる健康調査の集計結果

(工業短期大学部)

1. 自覚症状 (男子)

自覚症状	60年度		61年度		計	
	訴えた 学生数 a	率 (%) $\frac{a}{193}$	訴えた 学生数 a	率 (%) $\frac{a}{187}$	訴えた 学生数 a	率 (%) $\frac{a}{380}$
1. よく感冒をひく	39	20.2	36	19.3	75	19.7
2. ひどい寝汗をかくことがある	4	2.0	4	2.1	8	2.0
3. 口が渇くことがある	31	16.1	32	17.1	63	16.6
4. 顔や下肢がむくむことがある	4	2.0	1	0.5	5	1.3
5. おなかをよくこわす	39	20.2	44	23.5	83	21.8
6. よく便秘する	7	3.6	9	4.8	16	4.2
7. 頭が重かったり痛んだりすることがある	27	14.0	28	15.0	55	14.5
8. めまい・立ちくらみがあることがある	55	28.5	43	23.0	98	25.8
9. 息苦しくなって困ることがある	1	0.5	5	2.7	6	1.6
10. 疲れやすく元気がない	15	7.8	13	7.0	28	7.4
11. 手足のつることがある	16	8.3	34	18.2	50	13.2
12. めだって体重が増減したことがある	6	3.1	15	8.0	21	5.5
13. 関節・腰などに痛みを感じるがある	33	17.1	34	18.2	67	17.6
14. 薬剤使用後に熱や発疹が出たり、気分が悪くなったことがある	5	2.6	2	1.1	7	1.8

昭和60・61年度入学生の健康管理カードによる健康調査の集計結果

(工業短期大学部)

2. 自覚症状 (女子)

自覚症状	60年度		61年度		計	
	訴えた 学生数 a	率 (%) $\frac{a}{4}$	訴えた 学生数 a	率 (%) $\frac{a}{3}$	訴えた 学生数 a	率 (%) $\frac{a}{7}$
1. よく感冒をひく	1	25.0	1	33.3	2	28.6
2. ひどい寝汗をかくことがある						
3. 口が渇くことがある						
4. 顔や下肢がむくむことがある						
5. おなかをよくこわす	1	25.0	1	33.3	2	28.6
6. よく便秘する	1	25.0			1	14.3
7. 頭が重かったり痛んだりすることがある	2	50.0			2	28.6
8. めまい・立ちくらみがすることがある	1	25.0			1	14.3
9. 息苦しくなって困ることがある						
10. 疲れやすく元気がない	1	25.0			1	14.3
11. 手足のつることがある	2	50.0	1	33.3	3	42.9
12. めだって体重が増減したことがある						
13. 関節・腰などに痛みを感ずることがある	1	25.0				
14. 薬剤使用後に熱や発疹が出たり、気分が悪くなったことがある						

3. 自覚症状の数（男子）

自覚症状の数	60 年度		61 年度		計	
	学生数	率 (%)	学生数	率 (%)	学生数	率 (%)
0	72	37.3	63	33.7	135	35.5
1	40	20.7	45	24.1	85	22.4
2	40	20.7	35	18.7	75	19.7
3	20	10.4	23	12.3	43	11.3
4	9	4.7	7	3.7	16	4.2
5	7	3.6	5	2.7	12	3.2
6	3	1.6	4	2.1	7	1.8
7	1	0.5	2	1.1	3	0.8
8 以上	1	0.5	3	1.6	4	1.1
計	193	100.0	187	100.0	380	100.0

3. 自覚症状の数（女子）

自覚症状の数	60 年度		61 年度		計	
	学生数	率 (%)	学生数	率 (%)	学生数	率 (%)
0	1	25.0	1	33.3	2	28.5
1	1	25.0	1	33.3	2	28.5
2			1	33.3	1	14.3
3						
4	1	25.0			1	14.3
5	1	25.0			1	14.3
6						
7						
8 以上						
計	4	100.0	3	100.0	7	100.0

2. 既往症 (男子)

既往症名	60年度		61年度		計	
	学生数 a	率(%) $\frac{a}{193}$	学生数 a	率(%) $\frac{a}{187}$	学生数 a	率(%) $\frac{a}{380}$
1. 肺結核						
2. その他						
3. 心疾患						
4. 腎疾患	3	1.6	3	1.6	6	1.6
5. 肝疾患	2	1.0	1	0.5	3	0.8
6. 気管支喘息	6	3.1	10	5.3	16	4.2
7. 貧血	3	1.6	7	3.7	10	2.6
8. リウマチ						
9. 小児マヒ						
10. てんかん						
11. ノイローゼ						
12. 精神神経疾患	1	0.5			1	0.3
13. 交通事故による疾患	1	0.5	2	1.1	3	0.8
14. その他	19	9.8	10	5.3	29	7.3

2. 既往症 (女子)

既往症名	60年度		61年度		計	
	学生数 a	率(%) $\frac{a}{4}$	学生数 a	率(%) $\frac{a}{3}$	学生数 a	率(%) $\frac{a}{7}$
1. 肺結核						
2. その他						
3. 心疾患						
4. 腎疾患						
5. 肝疾患						
6. 気管支喘息						
7. 貧血						
8. リウマチ						
9. 小児マヒ						
10. てんかん						
11. ノイローゼ						
12. 精神神経疾患						
13. 交通事故による疾患	1	25.0			1	14.3
14. その他						

9) 入学志願者の健康診断

a) 昭和62年度岐阜大学入学者選抜時の健康診断実施要領

「大学入学者選抜実施要領」（昭和61年5月27日付け文高大第208号高等教育局長通知）に基づき本学入学者選抜時の健康診断は、下記要領により実施するものとする。

記

健康診断委員会は、次の区分により入学の適否を判定する。

1. 健康状況の把握

入学志願者の健康状況の把握については、調査書の「健康の状況」の記載によることを原則とする。ただし昭和59年度以前の高等学校卒業者及び大学入学資格検定の合格者等調査書を提出することができない者については、医師が証明する本学所定の健康診断書によるものとする。

2. 調査書（健康の状況）及び健康診断書の審査

学長から委嘱された健康診断医が予め審査し、精密検査の要・不要を判定する。

3. 精密検査

健康診断医が必要と判定した者に対しては、次の項目のうち必要な検査を行うものとする。

- (1) エックス線直接撮影
- (2) 血 沈
- (3) 尿
- (4) 内 科
- (5) 眼 科
- (6) 耳鼻咽喉科
- (7) 整形外科
- (8) その他必要事項

4. 入学適否の判定

健康診断委員会は、次の区分により適否を判定する。

- A 入学を適当と認められる者
- B 教授会で協議を要する者
- C 入学を不適当と認められる者

b) 昭和62年度岐阜大学入学者選抜時の健康診断判定基準

入学者選抜時の健康診断は、昭和61年5月27日付け文高大第208号通知に準拠して実施し、本学の特質を考慮して入学の適否を判定する基準を次のとおり定める。

入学を許可しない方針の者

1. 視力について

矯正視力が両眼ともに0.1以下の者（1眼が失明していても、他眼の矯正視力が0.2以上あれば差し支えない。）

ただし、医学部においてはこのほか次に該当する者

(ア) 矯正視力が1眼0.02以下、他眼0.5以下の者（1眼が失明していても、他眼の矯正視力が0.6以上あれば差し支えない。）

(イ) 視野が両眼ともに10度以内の者

(ウ) 片眼の視野が10度以内の者においては、他眼の中心視野が30度以下の者

2. 色覚について

教育学部美術工芸学科においては、強度異常・弱度異常の者

3. 聴力について

医学部及び農学部獣医学科においては、純音オージオメータによる聴力検査にて両耳の聴力レベルが70 dB以上の者

<注>

(1) 聴力測定は補聴器を装着しない状態で行う。

(2) 純音オージオメータは、JIS規格（昭和57年8月14日改定）を用いる。

(3) 聴力レベルは、会話音域の平均聴力レベルとし、周波数500、1000、2000ヘルツの純音に対する聴力レベル（dB値）をそれぞれa、b、cとした場合、次の算式により算定して数値とする。

$$\frac{a + 2b + c}{4}$$

(4) 当分の間（昭和63年8月13日まで）、昭和57年8月14日改定前の旧JIS規格のオージオメータを使用して差し支えないが、この測定値は聴力損失といって聴力レベルより低いdB値を示すので、500、1000、2000ヘルツの純音に対する聴力損失（dB値）をa、b、cとした場合、次の算式により聴力レベル（dB値）に換算した数値とする。

$$\frac{a + 2b + c}{4} + 10$$

4. その他疾病若しくは身体の障害等により、修学上困難がある者

c) 昭和62年度入学試験健康診断精密検査該当者数・受診者数

検査項目等 学部	X線直接 撮影	赤沈	尿検査	内科診察	眼科診察		耳鼻咽喉 科診察	整形外科 診察	その他			計	
					眼疾 視力	色覚			泌尿器 科診察	精神科 診察	放射線 診察	延件数	実人員
教育学部	(2)		(2)	(11)	(2)			(1)	(1)	(1)	(20)	(16)	
	2		2	9	2		1		1		18	14	
医学部			(4)	(5)							(9)	(5)	
			2	3							5	3	
工学部	(3)		(3)	(15)			(2)		(4)	(1)	(28)	(22)	
	3		1	10			2		2	1	19	15	
農学部	(1)		(2)	(5)			(1)		(1)	(1)	(11)	(7)	
	1		1	2			1		1		7	4	
計	(6)		(11)	(36)	(2)		(4)		(5)	(3)	(68)	(50)	
	6		6	24	2		4		3	3	49	36	

○ 検査項目等欄の上段()書は精密検査該当者数、下段は受診者数を示す。

以上

矯正

聴力

ルツ
算式

オ一
り低
値)
とす

10) 昭和61年度休学・退学・除籍者数調べ

理由	学部		休学者数						退学者数						除籍者数										
	教育	医	工	農	小計	大学院	工短	合計	教育	医	工	農	小計	大学院	工短	合計	教育	医	工	農	小計	大学院	工短	合計	
病気の ため	精神障害	1	4	3	8		1	9		1			1		2										
	結核																								
	その他			1	1	1	1	3					1		1										
	計	1	4	4	9	1	2	12		1			1		3										
一身上の都合	15	4	32	12	63	4	23	90	7	1	18	6	32	11	31	74									
家庭の都合							3	3																	
勤務の都合							15	15							12	12									
その他														3	2	5									
計	15	4	32	12	63	4	41	108	7	1	18	6	32	14	45	91									
死	病気																								
	事故																						2	2	
	自殺																	1				1		1	
	その他																								
計																	1				1		2	3	
その他																									
																							22	23	
合計	16	8	32	16	72	5	43	120	7	2	18	6	33	14	47	94		1			1	2	24	26	

2. 職員の健康管理

1) 昭和61年度職員健康診断業務計画

区 分	対 象 者	期 間	検 査 項 目 等
一般定期健康診断	職 員 全 員 (1,524名)	4月～5月	1. 内科検診 2. 胸部エックス線間接撮影 3. 身体測定 (身長、体重、視力)
	35才以上 (1,010名)	"	1. 血圧測定 2. 尿中のたんぱく及び糖の検査
	40才以上 (750名)	11月～1月	1. 胃の検査 (エックス線間接撮影) 2. 肝臓機能検査
一般定期健康診断 (精密検査)	再検者及び精検者	5月～6月	1. 胸部エックス線直接撮影、赤沈、内科 検診、心電図 2. 尿検査、血圧測定、その他
特別定期健康診断	タイピスト (40名)	11月～12月	自覚症状等の検査、眼の検査、上肢、頸 部、背部の機能検査
	理学療法士 (2名)	"	自覚症状等の検査、皮膚の検査、上肢、 頸部、背部の機能検査
	夜勤者 (210名)	"	自覚症状等の検査、血圧の検査、尿の検 査
	自動車運転手 (10名)	"	自覚症状等の検査、眼の検査、聴器の検 査、平衡機能の検査、胃腸の検査、血圧 の測定、上肢、頸部及び腰部の機能検査
	給食等関係者 (32名)	" (検便毎月)	自覚症状等の検査、伝染病の検査、寄生 虫の検査、皮膚の検査、腰部の機能検査
	病原体取扱者 (625名)	5月 11月	自覚症状等の検査、病原体による疾病に 特有な症状の検査、病原体の検査
	チェンソー等取扱者 (5名)	11月～12月	自覚症状等の検査、筋力の検査、血圧の 検査、末しょう循環機能検査、末しょう 神経機能検査
	放射線取扱者 (208名)	3ヶ月毎	皮膚の検査、問診、血液の検査 (6ヶ月 毎)
	特定有害業務 従事者等 (97名)	4月～5月 11月	自覚症状等の検査、口腔及び皮膚の検 査、血液の検査、尿の検査、肺臓の検査、 肺活量の検査等

2) 昭和61年度職員一般定期健康診断実施計画

対象地区	日 時	検 査 等 項 目	場 所	備 考
司 地 区	4月17日(木) 18日(金) 13:00~16:00	内科診察、胸部X線間接撮影、 血圧測定及び尿検査(血圧、尿 は35歳以上の者)	附属病院	医 師 各4人 看護婦 各5人
工学部、農学部、 工業短期大学部	5月20日(火) 13:00~16:00	〃	保健管理 センター	医 師 4人 看護婦 5人
本部、教育学部、 教養部、附属図書館、 保健管理センター	5月23日(金) 13:00~16:00	〃	〃	医 師 4人 看護婦 5人
柳 戸 地 区	5月26日(月) 27日(火) 9:00~11:00	血圧測定及び尿検査	〃	再検査の必要 な者
司 地 区	6月6日(金) 9:00~11:00	〃	附属病院	〃
司 地 区	6月20日(金) 10:00~11:30	赤沈等及び胸部X線直接撮影	〃	精密検査の必 要な者
柳 戸 地 区	6月20日(金) 13:00~14:00	〃	保健管理 センター	〃
農学部附属 山地開発研究施設	別に定める	内科診察、胸部X線間接撮影、 血圧測定及び尿検査(血圧、尿 は35歳以上の者)	高山保健所	
農学部 附属演習林	別に定める	〃	益田保健所	

(備 考)

1. 地区別の区分は、次のとおりとする。

- (1) 柳戸地区：事務局、学生部、教育・工・農学部（附属農場を含む。）、教養部、附属図書館、工業短期大学部及び保健管理センター
- (2) 司地区：医学部、同附属病院及び附属図書館医学部分館

2. かくたん検査については、諸検査の結果、精密検査の必要な者について実施する。

3. 教育学部附属小・中学校については、別に実施する。

3) 昭和61年度職員肝機能検査及び胃の集団検診実施計画

- (1) 検診対象者
 a 満40歳以上の者
 b 上記以外で検査を希望する者
- (2) 検査方法
 3ccの採血をして行う
- (3) 検査項目
 GOT、GPT
- (4) 採血日時等

区 分	日 時	対 象 部 局	実 施 場 所
肝機能検査	7月1日(火) 9:00~11:00	事務局、学生部 農学部(附属農場を含む) 教養部、附属図書館(医学部分館を除く) 保健管理センター	保健管理 センター
	7月2日(水) 9:00~11:00	教育学部、工学部 工業短期大学部	〃
	11月17日(月) 18日(火) 13:00~16:30	医学部 医学部附属病院 附属図書館医学部分館	医学部附属病院
	7月8日(火) 9日(水) 10日(木)	教育学部附属小・中学校	杉浦内科胃腸科 (岐阜市加納)
胃の集団検診	7月8日(火) 9日(水) 10日(木)	〃	〃
	12月11日(木) 8:30~10:00	工学部 農学部(附属農場を含む)	工学部ピロティ
	12月12日(金) 8:30~10:00	教育学部 教養部	教育・教養 外来者駐車場
	1月19日(月) 20日(火) 21日(水) 22日(木) 8:30~10:00	医学部 医学部附属病院 附属図書館医学部分館	医学部教育棟前
	1月23日(金) 8:30~10:00	事務局、学生部 附属図書館 保健管理センター 工業短期大学部	本部棟玄関

4) 昭和61年度職員一般定期健康診断実施結果

検査項目 部局	胸部X線間接撮影				胸部X線直接撮影				尿				血圧測定				胃				肝				機能検査	
	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率 %	経過観察数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率 %	経過観察数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率 %	経過観察数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率 %	経過観察数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率 %	経過観察数	検査
事務局・学生部 (保健管理センターを含む)	116	71	71	61		2	2	2	100	1	98	56	62	57	3	80	21	21	26		77	42	42	55		
教育学部	201	133	133	66		150	96	105	64		150	94	104	63		114	30	30	26		110	44	44	40		
医学部	288	192	192	67		199	80	80	40		199	82	82	41	2	138	62	62	45		138	41	41	30		
医学部 附属病院	434	331	331	76		176	105	105	60	1	176	115	115	65	3	129	60	60	47		129	122	122	95		
工学部	171	72	72	42		105	44	49	42	5	105	45	46	43	2	88	9	9	10		85	20	20	24		
農学部	152	83	83	55		132	61	73	46	8	132	62	64	47	2	107	17	17	16		107	30	30	28	3	
教養部	72	44	44	61		56	33	45	59		56	33	38	59		43	6	6	14		43	14	14	33		
附属 図書館	20	18	18	90		17	12	12	71	2	17	15	15	88	2	11	2	2	18		11	9	9	82		
工業短期 大学部	38	26	26	68		31	17	17	55		31	21	24	68	3	25	2	2	8		25	9	9	36		
計	1,492	970	970	65		964	503	548	52	17	964	523	550	54	17	735	209	209	28		725	331	331	46	3	

注 () 内数字は、希望者数を示す。

5) 昭和61年度職員特別定期健康診断実施計画

対象地区	対象者	日 時	検 査 等 項 目	場 所	備 考
柳戸地区	特定有害 物質取扱者	7月3日(木) 9:00~14:00	自覚症状等の検査、口腔 及び皮膚の検査、血液の 検査、尿の検査、肺臓の 検査、肺活量の検査等	保健管理 センター	医 師 3名 看護婦 5名
	病 原 体 取 扱 者	7月1日(火) 11月17日(月) 9:00~11:00	自覚症状等の検査、病原 体による疾病に特有な症 状の検査、病原体の検査	〃	医 師 3名 看護婦 5名
	放 射 線 取 扱 者	4月17日(木) 7月15日(火) 10月8日(水) 1月14日(水) 9:00~11:00	皮膚の検査、問診、血液 の検査(6カ月毎)	〃	医師1~3名 看護婦 5名
	タイピスト	11月25日(火) 26日(水) 9:30~11:00	自覚症状等の検査、眼の 検査、上肢、頸部、背部 の機能検査	〃	〃
	電話交換手	〃	自覚症状等の検査、聴器 の検査	〃	〃
	自 動 車 運 転 手	〃	自覚症状等の検査、眼の 検査、聴器の検査、平衡 機能の検査、胃腸の検査、 血圧の測定、上肢、頸部 及び腰部の機能検査	〃	〃
	給 食 等 関 係 者	〃	自覚症状等の検査、伝染 病の検査(毎月)、寄生 虫の検査、皮膚の検査、 腰部の機能検査	〃	〃
	チェンソー等 取 扱 者	11月27日(木) 9:30~1:00	自覚症状等の検査、筋力 の検査、血圧の測定、末 しょう循環機能検査、末 しょう神経機能検査	医学部 附属病院	

注 () 内数字は、希望者数を示す。

対象地区	対象者	日 時	検 査 等 項 目	場 所	備 考
司 地 区	特定有害 物質取扱者	11月17日(月) 18日(火) 13:00~16:30	自覚症状等の検査、口腔 及び皮膚の検査、血液の 検査、尿の検査、肺臓の 検査、肺活量の検査等	医学部 附属病院	
	病 原 体 取 扱 者	5月26日(月) 27日(火) 13:00~16:30 11月17日(月) 18日(火) 13:00~16:30	自覚症状等の検査、病原 体による疾病に特有な症 状の検査、病原体の検査		
	電話交換手	12月18日(水) 19日(木) 20日(金) 13:00~14:00	自覚症状等の検査、聴器 の検査		
	放 射 線 取 扱 者	5月26日(月) 27日(火) 13:00~16:30 6月19日(木) 20日(金) 14:00~15:30 9月24日(水) ~26日(金) 13:00~14:00 11月17日(月) 18日(火) 13:30~16:00 12月12日(金) 19日(金) 15:00~16:00 3月12日(木) 13日(金) 14:00~16:00	皮膚の検査、問診、血液 の検査(6カ月毎)		
	タイピスト	12月12日(金) 19日(金) 15:00~16:00 12月18日(木) 25日(木) 13:00~16:00	自覚症状等の検査、眼の 検査、上肢、頸部、背部 の機能検査		

各診療科で
受診及び春、
秋毎に6人
の看護婦を
依頼

対象地区	対象者	日 時	検 査 等 項 目	場 所	備 考
司 地 区	理学療法士	12月15日(月) 14:30~16:30 12月18日(木) 13:00~14:00 12月25日(木) 13:00~16:00	自覚症状等の検査、皮膚 の検査、上肢、頸部、背 部の機能検査	医学部 附属病院	
	夜 勤 者	12月15日(月) ~20日(土) 随 時	自覚症状等の検査、血圧 の測定、尿の検査	”	
	自 動 車 運 転 手	12月12日(金) 15:00~16:00 12月15日(月) 9:00~12:30 12月18日(木) 9:00~16:00 12月19日(金) 13:00~16:00 12月24日(水) 15:00~16:30 12月25日(木) 13:00~16:00	自覚症状等の検査、眼の 検査、聴器の検査、平衡 機能の検査、胃腸の検査、 血圧の測定、上肢、頸部 及び腰部の機能検査	”	
	給 食 等 関 係 者	12月15日(月) 14:30~16:30 12月19日(金) 13:00~14:30 12月24日(水) 15:00~16:30 12月25日(木) 13:00~16:00	自覚症状等の検査、伝染 病の検査(毎月)、寄生 虫の検査、皮膚の検査、 腰部の機能検査	”	
加納地区	給 食 等 関 係 者	12月26日(金) 11:00~12:00	自覚症状等の検査、伝染 病の検査、寄生虫の検査、 皮膚の検査、腰部の機能 検査	杉浦内科 胃腸科	

特別定期健康診断（特定有害業務（物質（薬品）取扱者））

問 診 票

所属部局

学科

氏 名

生年月日 大・昭 年 月 日生

性 別 男・女

満 才

- 現在服用中の薬が有れば記入してください。

例えば 風邪薬、抗生物質、血圧降下剤

()

- 既往症が有れば記入してください。(カゼ等の軽いものについては記入しなくてよい。)

病 名

治療期間 年 月 ~ 年 月

- 本年度の一般定期健康診断、成人病自動化健診受検の有無を記入してください。

有・無

- 添付別紙の○印で囲んだ番号のうち、現在あなたが自覚する症状が有れば○印で囲み、その他の症状が有る場合は()内に記入してください。

なお、不明な点がありましたら保健管理センターへ、健康診断当日ならばセンター職員にお尋ねください。

1. 便秘、腹部の疝痛、関筋痛、頭痛、不眠、めまい、その他()

四肢の伸筋麻痺及び知覚異常、握力減退、歯肉の帯青灰白又は緑黒色の着色

2. いろいろ、不眠、悪夢、食欲不振、倦怠感、盗汗、頭痛、悪心、嘔吐、腹痛、不安、興奮、

その他()

3. 頭重、不眠、乏尿、多尿、その他()

手指の振せん

4. 不眠、頭痛、精神不安定感、手指の振せん、その他()

口腔粘膜及び皮膚の炎症、潰瘍

5. 頭重、頭痛、口唇又は四肢部の知覚異常、関筋痛、不眠、嗜眠、抑うつ感、精神不安感、

その他()

口腔粘膜及び皮膚の炎症、歩行失調、手指の振せん

6. せき、たん、瞬目減少、膏顔（あぶら顔）、流唾、発汗異常、手指の振せん、書字拙劣、歩行

- 障害、不随意性運動障害、発語異常、その他（ ）
- 握力減退
7. せき、たん、胸痛、その他（ ）
- 角膜、鼻粘膜及び皮膚の炎症及び潰瘍
8. せき、たん、息ぎれ、食欲不振、悪心、嘔吐、反復性の腹痛又は下痢、体重の減少、その他（ ）
- 歯牙の変色、鼻粘膜の炎症
9. せき、たん、咽頭痛、息ぎれ、動悸、倦怠感、食欲不振、体重の減少、その他（ ）
- 皮膚の炎症
10. せき、たん、下痢、便秘、知覚異常、体重の減少、その他（ ）
- 皮膚の色素沈着又は障害、つめの変形、口内炎、鼻粘膜の障害
11. 倦怠感、食欲不振、貧血、黄だん、体重の減少、その他（ ）
- 口腔粘膜の炎症、歯牙の障害
12. 多汗、縮腫、眼瞼及び顔面の筋線維性攣縮、その他（ ）
13. 頭重、頭痛、疲労感、倦怠感、異味、胃腸症状、その他（ ）
- 結膜充血
14. 頭重、頭痛、全身倦怠感、悪心、嘔吐、鼻血、不眠、貧血、黄だん、その他（ ）
- 発疹、結膜炎
15. 頭重、頭痛、眼痛、鼻痛、咽頭部違和感、せき、たん、胸部圧迫感、息ぎれ、胸痛、呼吸困難、全身倦怠感、体重の減少、その他（ ）
- 眼、鼻腔及び咽頭の粘膜の炎症、皮膚の炎症
16. 頭重、頭痛、もの忘れ、不眠、倦怠感、悪心、食欲不振、顔面蒼白、手指の振せん、その他（ ）
- てんかん様発作の既往歴
17. せき、たん、上気道刺激症状、その他（ ）
- 眼、口腔及び鼻腔の粘膜の炎症、皮膚の炎症、歯牙の腐蝕
18. 胃腸障害、せき、たん、嗅覚鈍麻、その他（ ）
- 眼、口腔及び鼻腔の粘膜の炎症、皮膚の炎症、つめの変形、歯牙の変色
19. 流涙、眼痛、せき、鼻汁過多、頭痛、めまい、その他（ ）
- 皮膚の炎症、心悸亢進、眼球突出、甲状腺腫、手指及び眼瞼の振せん、多食、多汗、体重減少
20. 頭痛、もの忘れ、疲労感、めまい、精神不安定感、その他（ ）
- 視野の狭窄

21. 食欲不振、便秘、せき、嘔声、その他（ ）
口腔粘膜の炎症、歯牙の酸蝕
22. 頭痛、不眠、易疲労性、易興奮性、めまい、悪心、せき、上気道刺激症状、その他（ ）
結膜及び角膜の異常、歯牙の変化
23. 頭重、頭痛、不眠、焦燥感、めまい、下肢の倦怠感又はしびれ感、食欲不振、胃の異常症状、
眼痛、神経痛、その他（ ）
手指の振せん、立位での体のふらつき
24. 疲労感、めまい、頭重、頭痛、不眠、食欲不振、記憶力減退、その他（ ）
25. 血尿、頻尿、排尿痛、その他
26. 顔面蒼白、貧血、チアノーゼ（口唇及び四肢末端の青色）、胃腸障害、体重の減少、めまい、
不眠、耳鳴り、無力感、その他（ ）
27. せき、たん、咽頭痛、頭痛、めまい、易疲労性、倦怠感、食欲不振、甘味嗜好、多汗、発熱、
心悸亢進、眼痛、その他（ ）
皮膚の色素沈着及び炎症
28. 食欲不振、脱力感、その他（ ）
にきび、皮膚の黒変
29. 疲労感、めまい、吐気、その他（ ）
30. 頭痛、めまい、耳鳴り、全身倦怠感、易疲労感、不定の上腹部症状、黄だん、黒色便、手指の
疼痛又は知覚異常、その他（ ）
31. 食欲不振、せき、たん、眼痛、その他（ ）
皮膚の色素沈着、炎症及びいぼ
32. 頭痛、眼痛、鼻痛、せき、たん、胸痛、咽頭部違和感、その他（ ）
眼、鼻腔及び咽喉の粘膜の炎症、皮膚の炎症
33. 頭痛、めまい、悪心、嘔吐、せき、皮膚さうよう感、その他（ ）
鼻腔粘膜の炎症
34. せき、たん、胸痛、呼吸困難、皮膚の蒼白、舌の緑着色、指端の手掌部の角化、手指の振せん、
その他（ ）
35. せき、たん、胸痛、体重の減少、その他（ ）
36. 手足のしびれ、歩行障害、発汗異常、その他（ ）
皮膚の炎症
37. せき、たん、胸痛、体重の減少、その他（ ）
38. 頭重、頭痛、肩凝り、胸部違和感、心臓症状、四肢末端のしびれ感、冷感、神経痛、脱力感、

胃腸症状、その他（ ）

39. せき、たん、胸痛、体重の減少、その他（ ）

皮膚の炎症

40. せき、たん、嘔声、流涙、脱力感、胃腸症状、その他（ ）

皮膚の炎症、結膜及び角膜の異常

41. 頭重、頭痛、悪心、嘔吐、不眠、焦燥感、めまい、四肢倦怠感、食欲不振、腹痛、

その他（ ）

42. せき、たん、息ぎれ、胸痛、その他（ ）

43. せき、たん、嘔声、流涙、脱力感、胃腸症状、その他（ ）

眼及び口腔粘膜の炎症、皮膚の炎症、歯牙の変形

44. せき、たん、その他（ ）

皮膚の炎症

問 診 及 び 皮 膚 の 検 査 表

所 属

氏 名

○ 異常の有無（該当する事項にVを付してください。）

有 無

○ 最近、体の調子や手に下記のような異常を気付いた方はありませんか。

よく食べ、格別無理な仕事もしていないのに最近特に体が疲れやすく、だるく、よく眠気を催すようになった。

手の指や手のひらが乾いて、書物のページをめくり又は紙幣を数えることがうまくいかなかった。

温い物を持ち又はお湯に手を入れたとき、普通の人よりも熱く感ずる。

普段、手のひらにヒリヒリする感じ、はれぼったい感じ、熱くほてる感じ又は冷える感じがする。

手の指先の皮膚がざらざらと荒れて厚くなり、爪に縦の太いすじが出てきた。

健康診断実施年月日	問診及び皮膚の検査	担当医師の印	事後措置・指導区分の内容

著しい騒音を発する場所における業務（電話交換手）

問 診 表

所 属

氏 名

昭和 年 月 日生

1. 自覚症状等の検査

難聴の 有 ・ 無

右

左

耳鳴り 有 ・ 無

耳の閉そく等

2. 聴器の検査

聴力 右 左

せん孔、タイプ、筆耕、速記等による手指、肩、頸部等に障害をうけるおそれのある業務
（タイピスト）

問 診 表

所 属

氏 名

昭和 年 月 日生

1. 自覚症状等の検査

上肢・肩の痛み、又はしびれ等

2. 眼の検査

視力 右 () 左 ()

ふくそう等

3. 上肢、頸部の検査

自動車等の運転を行う業務（自動車運転手）

問 診 表

所 属

氏 名

昭和 年 月 日生

1. 自覚症状等の検査

頭痛、腰痛、胃症状等

2. 眼の検査

視力 右 () 左 ()

視野等

3. 聴器の検査

聴力等 右 左

4. 平衡機能の検査

5. 胃腸の検査

6. 血圧測定

7. 上肢、頸部・腰部の機能検査

調理、配膳等のため食品を取り扱う業務

問 診 表

所 属

氏 名

昭和 年 月 日生

1. 自覚症状等の検査
（頭痛、神経痛等）
2. 伝染病の検査
（1月ごとに1回） 別に実施
3. 寄生虫の検査 別に実施
（2・3は実施済を確認すること）
4. 皮膚の検査
（洗剤による皮膚の炎症）
5. 腰部の機能検査

6) 昭和61年度職員特別定期健康診断実施結果

検査項目 部局	有害薬品(1号)				病原体(4号)				チェンソー(5号)				騒音(10号)				放射線(2号)				
	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率%	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率%	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率%	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率%		
事務局・学生部 (保健管理センターを含む)	1	1	1	100		8	4	4	50		4	4	4	100		1	1	4	100		
																1	1	2	100		
教育学部	5	5	5	100												2	2	7	100		
																2	2	3	100		
医学部	6	3	3	50	180	153	306	85	3							37	37	148	100		
																37	37	67	100		
医学部 附属病院	26	23	23	88	456	412	823	90								111	108	432	97		
																111	108	213	97		
工学部	17	16	16	94												17	13	46	76		
																17	13	21	76		
農学部	10	10	10	100	8	8	15	100		5	4	4	80			35	34	136	97		
																35	34	67	97		
教養部																1	1	4	100		
																1	1	2	100		
附属 図書館																					
工業短期 大学部	2	2	2	100																	
計	67	60	60	90	652	577	1148	88	3	5	4	4	80	4	4	4	100	204	196	777	96
																		204	196	375	96

(注) 1) 放射線の上段数字は、問診及び皮膚の検査、下段数字は血液の検査を示す。
2) 調理配ぜんの上段数字は、伝染病の検査、下段数字は寄生虫及び皮膚の検査を示す。

号)	タイピスト(3号)				理学療法上(4号)				深夜作業(6号)				自動車運転手(7号)				調理配ぜん(8号)						
経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率%	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率%	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率%	経過観察実施数	対象者	受診実人員	受診延人員	受診率%				
	3	3	3	100							5	5	5	100									
															3	3	36	100					
															3	3	6	100					
	1	0	0	0							2	2	2	100	23	23	276	100					
											4	0	0	0	23	23	46	100					
						2	2	2	100	214	208	208	97										
	11	11	11	100																			
	15	14	14	93	2	2	2	100	216	210	210	97	9	5	5	56	28	28	330	100			
																				28	28	54	100

3. 昭和61年度保健管理施設利用状況

区 分	柳戸地区(教育・工・農・短・教養・本部)			司地区(医)	
	学 生	職 員	計	学 生	
利用者 総数	内科的処置	2,110 (76)	2,130 (70)	4,240(146)	96
	外科的処置	833 (20)	270 (4)	1,103 (24)	32
	整形外科的処置	226 (20)	228 (1)	454 (21)	
	眼科的処置	98 (18)	24 (4)	122 (22)	
	耳鼻科的処置	24 (4)	18 (1)	42 (5)	
	皮膚科的処置	142 (9)	184	326 (9)	
	歯科口腔外科的処置	36 (1)	26	62 (1)	
	精神神経科的処置	565 (1)	41	606 (1)	
	泌尿器科的処置	4 (1)	22	26 (1)	
	婦人科的処置	57	8 (1)	65 (1)	
	傷病外利用	1,326	27	1,353	334
合 計	5,421(150)	2,978 (81)	8,399(231)	462	
利用者 の内 訳	健康相談				
	身体的面	3,132	2,253	5,385	
	精神的面	565	39	604	
	計	3,697	2,292	5,989	
	救急処置				
	創部処置	785	211	996	32
	湿布	229	60	289	
	洗点眼	21	13	34	
	投薬	939	1,703	2,642	92
	採血・注射	293	213	506	
	ベット休養	76	18	94	
	その他	11	2	13	
	計	2,354	2,220	4,574	124
	検査				
	尿検査	491	160	651	4
	血圧測定	237	445	682	
	心電図検査	44	24	68	
	血液検査				
	赤沈	4	1	5	
	血糖検査	12	48	60	
	肝機能検査				
	貧血検査	37	12	49	
	糖負荷試験	2	17	19	
脳波検査					
検温	614	276	890		
診察	446	413	859		
身体計測	75	72	147		
その他	23	32	55		
計	1,985	1,500	3,485	4	
その他					
救急薬品貸出	113	7	120	4	
証明書発行	1,155	15	1,170	2	
互助会相談	1		1	328	
その他	31	1	32		
延件数	9,336	6,035	15,371	462	

計		合 計	備 考
学 生	職 員		
2,206 (76)	2,130 (70)	4,336 (146)	()内数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。
865 (20)	270 (4)	1,135 (24)	
226 (20)	228 (1)	454 (21)	
98 (18)	24 (4)	122 (22)	
24 (4)	18 (1)	42 (5)	
142 (9)	184	326 (9)	
36 (1)	26	62 (1)	
565 (1)	41	606 (1)	
4 (1)	22	26 (1)	
57	8 (1)	65 (1)	
1,660	27	1,687	
5,883 (150)	2,978 (81)	8,861 (231)	
3,132	2,253	5,385	
565	39	604	
3,697	2,292	5,989	
817	211	1,028	
229	60	289	
21	13	34	
1,031	1,703	2,734	
293	213	506	
76	18	94	
11	2	13	
2,478	2,220	4,698	
495	160	655	
237	445	682	
44	24	68	
4	1	5	
12	48	60	
37	12	49	
2	17	19	
614	276	890	
446	413	859	
75	72	147	
23	32	55	
1,989	1,500	3,489	
117	7	124	
1,157	15	1,172	
329		329	
31	1	32	
9,798	6,035	15,833	

昭和61年度月別保健管理施設利用状況 (学生)

区 分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
利用者 総数	内科的処置	301(7)	468(13)	205(9)	107(5)	54(3)
	外科的処置	43(3)	79(1)	136(4)	74(1)	43(1)
	整形外科的処置	22(2)	35(6)	33(3)	24(1)	6(1)
	眼科的処置	6(2)	8(3)	15(1)	9(1)	1
	耳鼻科的処置	2(2)	6(2)	3	5	
	皮膚科的処置	13(1)	16(2)	13	13(2)	8
	歯科口腔外科的処置	6	4	1	3	1
	精神神経科的処置	81	131	80	34	12
	泌尿器科的処置			2(1)		1
	婦人科的処置	4	7	11	3	2
	傷病外利用	78	78	234	284	413
合 計		556(17)	832(27)	733(18)	556(10)	541(5)
利用者 の内 訳	健康相談					
	身体的面	371	555	393	194	85
	精神的面	81	131	80	34	12
	計	452	686	473	228	97
	救急処置					
	創部処置	32	75	119	71	35
	湿布	22	40	33	28	10
	洗点	1	3	10	1	
	投薬	102	125	100	68	39
	注射	109	5	20	11	2
	ベット休養	7	15	9	7	3
	その他	2			2	
	計	275	263	291	188	89
	検査					
	尿検査	61	169	76	20	10
	血圧測定	17	40	28	13	6
	心電図・心音図検査	5	18	13	2	
血液検査						
血沈		1	1			
血糖検査	3	2		1	1	
肝機能検査						
貧血検査	5	2	7	1	1	
糖負荷試験		1	1	3		
脳波検査						
検温	45	45	72	31	10	
診察	34	64	66	26	4	
身体計測	1	3	15	6	8	
その他						
計	171	345	279	103	40	
その他						
救急薬品貸出	3	10	13	22	9	
証明書発行	44	41	168	228	368	
互助会相談	26	25	39	32	33	
その他の	1	1	2	1	1	
延件数	972	1,371	1,265	802	637	

() 内数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。

9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
108(3)	299(3)	224(4)	147(8)	114(5)	108(11)	71(5)	2,206(76)
72(3)	97(2)	139	88(1)	48(1)	25(2)	21(1)	865(20)
21(2)	25(2)	27(1)	12(1)	7(1)	7	7	226(20)
7(2)	7(3)	16(2)	10(1)	12(3)	4	3	98(18)
2		2		1	1	2	24(4)
13	11	31(3)	7	6	6	5(1)	142(9)
1	3(1)	4	8	4	1		36(1)
29(1)	38	39	32	22	27	40	565(1)
	1						4(1)
7	20	4	5	6	3		72
167	92	53	58	72	35	81	1,645
427(11)	593(11)	539(10)	367(11)	292(10)	217(13)	230(7)	5,883(150)
185	386	352	217	172	131	91	3,132
29	38	39	32	22	27	40	565
214	424	391	249	194	158	131	3,697
76	87	149	84	44	26	19	817
14	23	27	18	5	3	6	229
1			3	2			21
77	92	123	98	93	76	39	1,032
3	111	3	12	2	3	12	293
7	8	3	9	2	2	3	75
	3	2		1	1		11
178	324	307	224	149	111	79	2,478
17	51	41	23	7	11	9	495
24	61	16	18	2	7	5	237
1	4		1				44
	1						3
1	2	2	1				13
6	3	1	2	2	3	1	34
							5
36	53	73	73	84	66	26	614
31	29	51	40	41	29	31	446
5	8	6	12	2	7	2	75
	10		9			4	23
121	222	190	179	138	123	78	1,989
18	4	8	9	6	7	8	117
105	69	22	23	37	14	67	1,186
40	20	20	25	28	12		300
1	12	2	4	2	2	2	31
677	1,075	940	713	554	427	365	9,798

昭和61年度月別保健管理施設利用状況（職員）

区 分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
利用者 総数	内科的処置	148	158(2)	196(8)	234(26)	150(6)
	外科的処置	16	16	39(1)	30	28
	整形外科的処置	11	19	14	25	23
	眼科的処置	1		5(2)	3(1)	2(1)
	耳鼻科的処置		2	1(1)	2	
	皮膚科的処置	6	9	25	19	27
	歯科口腔外科的処置	1	1	1	4	8
	精神神経科的処置	3	5	2	4	5
	泌尿器科的処置	2	2	1	2	3
	婦人科的処置				2(1)	2
	傷病外利用	1	1	4	3	2
合 計		189	213(2)	288(12)	328(28)	250(7)
利用者 の内 訳	健康相談					
	身体的面	114	177	244	263	161
	精神的面	3	4	1	4	5
	計	117	181	245	267	166
	救急処置					
	創部処置	8	11	30	16	28
	湿布	2	3	3	1	12
	洗点	1	1	1	2	
	投薬	112	121	120	142	130
	注射	40	10	3	59	10
	ベットの休養	1	2	1	3	1
その他						
計	164	148	158	223	181	
検査						
尿検査		14	17	55	12	
血圧測定	17	41	52	60	27	
心電図・心音図検査		6	1	4	1	
血液検査						
血沈						
血糖検査		1	2	22	2	
肝機能検査						
貧血検査		2	3	2		
糖負荷試験				6	3	
脳波検査						
検温	17	18	17	37	6	
診察	19	34	31	88	20	
身体計測	1	1	4	7	5	
その他				2	3	
計	54	117	127	283	79	
その他						
救急薬品貸出				2		
証明書発行		1		1	3	
互助会相談						
その他						
延件数	335	447	530	776	429	

()内数字は、専門医に紹介した件数を内数で示す。

9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
196(7)	236(3)	211	166(2)	144(5)	132(5)	159(6)	2,130(70)
37	24	13(2)	17	20	13	17(1)	270(4)
33	22	18	16(1)	13	12	22	228(1)
2	4	4		2	1		24(4)
	1	1		2	2	7	18(1)
28	16	23	7	6	8	10	184
1	1	3	2		1	2	25
4	8	3	1	5	1	1	42
4	2	3			1	2	22
1		1		1	1		8(1)
2	4	4			2	4	27
308(7)	318(3)	284(2)	209(3)	193(5)	174(5)	224(7)	2,978(81)
203	234	220	165	158	136	178	2,253
4	8	3		5	1	1	39
207	242	223	165	163	137	179	2,292
33	23	21	8	14	9	10	211
22	5	3	2	2	1	4	60
1	3	3			1		13
148	171	168	175	133	128	155	1,703
6	53	15	1	4	5	7	213
2	2	1			2	3	18
	1	1					2
212	258	212	186	153	146	179	2,220
17	15	4	2	7	8	9	160
49	32	42	26	25	29	45	445
5	1			1	2	3	24
						1	1
5	5	2	1	2	3	3	48
2				1		2	12
1	3			1	1	2	17
11	34	13	28	36	25	32	274
39	35	45	19	23	24	37	414
9	4	24	1	2	5	8	71
11	2	9	1	3		3	34
149	131	139	78	101	97	145	1,500
1	2	2					7
	2	2			2	4	15
1							1
570	635	578	429	417	382	507	6,035

昭和61年度入学学生の利用状況（来所動機別）

来 所 動 機		教 育 学 部			医 学 部		
		男	女	計	男	女	計
精神的面の訴えをもって 来所した学生数	自 主 的	1	1	2			
	すすめられて	8	28	36	5	3	8
	計	9	29	38	5	3	8
身体的面の訴えをもって 来所したが精神的面の援助 が必要であった学生数	自 主 的	1	1	2			
	すすめられて	7	7	14	2	1	3
	計	8	8	16	2	1	3
身体的面の訴えで来所し た学生数	自 主 的	26	41	67	12	4	16
	すすめられて	1	2	3	1		1
	計	27	43	70	13	4	17
合 計	自 主 的	28	43	71	12	4	16
	すすめられて	16	37	53	8	4	12
	計	44	80	124	20	8	28
精神的（身体的→精神的） な訴えをもって（精神健 康相談）来所した学生数	自 主 的	2	2	4			
	すすめられて	15	35	50	7	4	11
	計	17	37	54	7	4	11

工 学 部			農 学 部			合 計			工業短期大学部		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
1		1	1		1	3	1	4			
45	2	47	20	8	28	78	41	119	22		22
46	2	48	21	8	29	81	42	123	22		22
1		1	2		2	4	1	5			
10	2	12	6	5	11	25	15	40	1		1
11	2	13	8	5	13	29	16	45	1		1
59	2	61	27	14	41	124	61	185	1		1
5		5		2	2	7	4	11	2		2
64	2	66	27	16	43	131	65	196	3		3
61	2	63	30	14	44	131	63	194	1		1
60	4	64	26	15	41	110	60	170	25		25
121	6	127	56	29	85	241	123	364	26		26
2		2	3		3	7	2	9			
55	4	59	26	13	39	103	56	159	23		23
57	4	61	29	13	42	110	58	168	23		23

Ⅱ 「健康のしおり」の発行について

保健管理センターでは、昭和57年2月に「健康のしおり－健康管理－」を創刊号として発行して以来、学生が日常生活をして行く上に必要かつ一般的でしかも身近な問題を取り上げ、それを症状別・臓器別・疾病別等に分け、分かりやすく編集している。既に17号まで刊行し、学生及び教職員に配布して好評を得てきた。今回も前回に引続き健康のしおり18号を発行し配布するとともに、今後も引続き発行する予定である。

健康のしおり

1. ー健康管理ー
2. ー健康づくりー
3. ー心の健康ー
4. ーかぜ症候群ー
5. ー頭痛ー
6. ー尿検査で、尿糖（+）と言われたらー
7. ー心臓の話ー
8. ー腹痛についてー
9. ー心雑音及び心音についてー
10. ー動悸についてー
11. ー尿潜血（+）と言われたらー
12. ー尿蛋白（+）と言われたらー
13. ー血圧についてー
14. ーアルコールと消化器ー
15. ーアルコールと消化器（Ⅱ）ー
16. ー糖尿病ー治療についてー
17. ー胃を悪くした時の話ー
18. ー糖尿病ー治療についてーその2

健康のしおり 18

糖尿病 — 治療について — その 2

糖尿病の食事、運動、薬物の三大療法のうち、食事療法、運動療法について少し詳しく述べます。

1) 食事療法

健康のしおり 16 で 1 日の総摂取量の決め方はお話しましたが、繰り返しますと、
〔身長(cm) - 100〕× 0.9 (=理想体重) × 25 ~ 30kcal、低身長の方は〔身長(cm) - 100〕 (=理想体重) × 25 ~ 30kcal です。たとえば、身長 170cm の人は、
(170 - 100) × 0.9 × 25 ~ 30 = 1575 ~ 1890kcal となります。そして、肥満の人、仕事量の少ない人は少な目で 1600kcal 位、痩せの人、仕事量の多い人はやや多く 1800 ~ 1900kcal 位となります。

次に、食品交換表〔日本糖尿病学会編「糖尿病治療のための食品交換表」文光堂(1表)〕についてお話しします。これは食品を栄養分の種類をもとにして、「表 1」から「表 6」までの 6 つに分け、各食品の目安を 1 単位 = 80kcal で表示したものです。例えばめし茶碗 1 杯が 110g で 2 単位です。この食品交換表に基づき、適正なカロリーで、蛋白質(1日摂取カロリーの 15 ~ 20% 位)、脂質(20 ~ 25%)、糖質(60% 前後)、ビタミン、ミネラルを過不足なく摂取することが重要です。この表では 15 単位(1200kcal)を基礎食として食品配分を定め(2表)、残りを追加配分する方法で行なわれています。1600kcal の人は、20 単位(1600kcal ÷ 80kcal)となりますから、15 単位を基礎食で、残り 5 単位をその人の食習慣を考慮し、追加配分します。普通は表 1 の穀類やいも類で 4 単位、肉、魚類で 1 単位追加することが多いようです。

1 日の配分については、分食回数を多くし少量頻回食にすること、1 日の各食事の量的、質的内容が一定すること、食事時刻を規則正しくすることが原則です。朝食は少なくなりがちですが、昼食や夕食と同じように十分とってください。回数は 1 日 3 回以下よりも 4 ~ 5 回以上のほうがよいとされています。1 日 1 ~ 2 食はも

ってのほかです。これは1食当たりのカロリーが多いとインスリン必要量が増すためです。

なお、アルコールについては禁酒が好ましいのですが、1日2単位（ビール400 ml、日本酒150 ml、ウイスキー70 ml）まではあまり問題ないとされています。ただ、ビールや日本酒は糖質が含まれているため、飲みすぎると注意が必要です。その他、食物繊維は、糖尿病、動脈硬化、便秘などに効果があることがわかってきました。特に穀類に含まれる食物繊維が重要です。果物の嫌な人は野菜を多く食べてビタミンやミネラルを補ってください。魚、肉、卵、大豆製品は均等にとりましょう。牛乳は1日に200 cc、1.4単位は取りましょう。豆乳は乳製品ではありません。野菜類は人参、ほうれん草、にら、ピーマンなどの有色野菜を100 g、レタス、キャベツ、胡瓜、大根などの淡色野菜を200 g、計300 g（1単位）は1日に取りましょう。生野菜はカサは多く見えても、実質は少ないので野菜不足になりがちです。煮物、あえ物、浸しなど工夫して補いましょう。野菜類はほとんどカロリーが無視できるので、どうしても空腹感が強い人は野菜を多くとりましょう。ソルビトールなどの人口甘味量は砂糖のような急な血糖上昇はありませんが、カロリー計算に入れなければいけません。インスタント食品はカロリーが多く、栄養分のバランスが悪いので取りすぎに注意しましょう。民間療法や言い伝え（例えば、ピーナッツは糖尿病によいと）には注意しましょう。

糖尿病食は食事制限ではなく、健康食です。糖尿病の人のために家族と違った特別な食事を作る必要はなく、家族みんながこの食事をとれば、みんなが健康な生活を送ることが出来るのです。

2) 運動療法

糖尿病の治療中では見過ごされがちですが、優れた効果があり、重要な治療法です。効果としては、1. 糖が利用され、インスリンの働きがよくなるので血糖が下がる、2. 血中のコレステロールや中性脂肪が低下する、3. 血液の循環がよくなり、4. 心臓や肺の機能が增強される、5. ストレス解消に役立つ、などがあります。さて、運動療法で重要なことは、一定以上の強さで、一定時間持続して、かつ毎日継続して行なうことです。食事療法で言う2～3単位（160～240kcal）位（3表）、あるいは食事療法のカロリーの10%位から始め、適宜漸増し、食後30

分から1時間位に、1日20～40分を目安に、できれば1日2回朝、夕に分けて行ないます。運動の強さについては、脈拍数を目安にして4表の「強さの割合」の40～60%が適度です。強さは個人差があり、同じ人でも運動を続けていくことにより、体力がつき、強さはかわってきます。万歩計は正確ではありませんが、大体の目安になり、目標は1日8,000～10,000歩位です。

具体例として、40歳代の方は準備運動としての体操を5分間（0.25単位）、ジョギング20分間（2.5単位）、整理運動としての体操を5分間（0.25単位）、計30分間、3単位（240kcal）位となります。ジョギングの強さは脈拍数で1分間120前後が目安です。

以上の食事療法や運動療法は必ず医師と相談の上、行なってください。自己判断で行なって、大変な間違いをおこすこともあります。

できるだけ詳しく述べてきましたが、実行するにはむずかしいものです。お気軽に保健管理センターまで相談にお寄りください。

(1表)

食 品 分 類 表

群	表	食 品	1単位80キロカロリー当たりの各栄養素含量の平均値		
			たんぱく質 (グラム)	脂肪 (グラム)	糖質 (グラム)
I	表1	こく類、いも類、豆類(大豆およびその製品を除く)、糖質の多い野菜および種実類	2	—	18
	表2	果実類	—	—	20
II	表3	魚介、獣鳥鯨肉類およびその加工品、卵、チーズ、大豆およびその製品	9	5	—
	表4	乳類および乳製品(チーズを除く)	4	5	6
III	表5	油脂類および多脂性食品	—	9	—
IV	表6	野菜類(糖質の多い一部の野菜を除く)、藻(海藻)類、きのこ類、こんにゃく	5	1	13

(2表)

糖尿病基そ食 (15単位、1,200キロカロリー)

1) 食品構成

基そ食		食品構成例					
交換表	単位	食品例	目方 (グラム)	めやす	たんぱく質 (グラム)	脂質 (グラム)	糖質 (グラム)
表1	6	めし	330	茶わん 軽く3杯	12		108
表2	1	果実類	150	りんご小 1個または 中2/3個			20
表3 ^{注1}	4	魚介類	80	魚1切	9	5	
		肉類	60	牛肉うす 切1枚	9	5	
		鶏卵	50	中1個	9	5	
		とうふ	120	小1/2丁	9	5	
表4	1.4	牛乳 ^{注2}	200	1本	6	7	8
表5	1	油脂類	10	大さじ 軽く1杯		9	
表6	1	野菜類 きのこ 藻(海藻) 類	300		5	1	13
付録1	0.6	みそ汁 用みそ	15	大さじ 1杯弱	3	2	
		調味用 さとう	6	小さじ 2杯			6
合計	15				62	39	155

注1 表3の食品はここに示したように、できるだけ変化にとんだ内容にすることが好ましい。しかし肉がきらいな場合、肉1単位のかわりに魚を用いて魚を計2単位とするようにしてもよい。また、基そ食では選択する魚や肉は表3(40~47ページ)の中で*や△のついていないものをえらぶようにする。

注2 牛乳をのめない人は、牛乳のかわりに表3より1単位、表2より0.4単位をとるようにする。

(3表)

80キロカロリー(1単位)に相当する運動と時間

運動の強さ	80キロカロリー(1単位)に相当する時間	運動の種類
I. 非常に軽い	30分続けて1単位	散歩、通勤(電車、バス)、家事、育児、一般事務、草むしり、買物
II. 軽い	20分続けて1単位	自転車(平地)、ラジオ体操、階段(おりの)、歩いて通勤、入浴
III. 中くらい	10分続けて1単位	かけあし、階段(のぼる)、遠泳、自転車(坂道)、バレーボール、バドミントン、登山
IV. 強い	5分続けて1単位	ボート練習、なわとび、サッカー、バスケットボール、マラソン

(佐藤祐造：糖尿病診療のチェックポイント，P216，日本メディカルセンター，1986より一部改変)

(4表)

運動の強さの目安

強さの割合	強さの感じ方	1 分間当りの脈拍数					その他の感覚
		60歳代	50歳代	40歳代	30歳代	20歳代	
100%	最高にきつい	155	165	175	185	190	体全体が苦しい
90%	非常にきつい	145	155	165	170	175	無理、100%と差がない、ようやく言葉が出る、息がつまる
80%	きつい	135	145	150	160	165	続かない、やめたい、のどが渇く、がんばるのみ
70%	ややきつい	125	135	140	145	150	どこまで続くか不安、緊張、汗びっしょり
60%	やや楽である	120	125	130	135	135	いつまでも続く、充実感、汗が出る
50%	楽である	110	110	115	120	125	汗が出るか出ないか、フォームが気になる、ものたりない
40%	非常に楽である	100	100	105	110	110	楽しく気持ちよいが、まるでものたりない(初めての人はこの程度から始める)
30%	最高に楽である	90	90	95	95	95	じっとしているより動いたほうが楽
20%	座っているのと同じ	80	80	75	75	75	安静

運動を維持するには、運動範囲を拡大する

(体育科学センター編, 健康づくり運動カルテ, 講談社 1976, 一部改変)



なお、これらのことについて更に詳しく知りたい方は、保健管理センターへおいでください。

また、保健管理センターでは、心身の健康上の問題はもちろんのこと、誰に相談してよいか分からないようないろいろな悩み事についても相談に乗っています。相談内容の秘密は守られますので気軽に利用してください。(電話でも受け付けます。)

身近な人達にも利用を勧めてください。

保健管理センター < 0582 > 30-1111 内線 2811・2812

Ⅲ 研 究 報 告

自殺学生の検討Ⅱ

田中實教授・中尾けさじ保健婦

はじめに

岐阜大学では、昭和43年度から昭和61年度の19年間に、計15名の学部学生が自殺している（一部は既に報告した^{1) 2)}）。表1に示したとおり、43年度から54年度までの10年間は2～3年の間隔で自殺者が出て居り、2～3年自殺者が続くという傾向であったが、57年度からは1年間隔で年1名ずつ出ている傾向を示している。さらに表2に示したとおり、自殺より、事故死による死亡の学生が近年多くなって居り（交通事故死がほとんどである）、疾病による者は、悪性腫瘍・心疾患がほとんどであった。これらは、厚生省の「昭和61年人口動態統計」³⁾の発表と同じ傾向を示し

表1 昭和43～61年度の自殺学生数と自殺率

年 度	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
学 生 数	3,329	3,451	3,540	3,590	3,620	3,719	3,841	3,985	4,086	4,086
自殺学生数		1	1		2	3				2
自 殺 率		29.0	28.2		55.2	80.7				48.9
年 度	53	54	55	56	57	58	59	60	61	計
学 生 数	4,046	3,999	4,050	4,133	4,161	4,222	4,266	4,452	4,331	74,907
自殺学生数	2	1			1		1		1	15
自 殺 率	49.4	25.0			24.0		23.4		23.1	20.0

表2 昭和43～61年度の死亡による除籍者数

年 度	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	計
事 故	1	1						1		2	3	1	1	2		3	1	1		17
自 殺		1	1		2	3				2	2	1			1		1		1	15
疾 病	2	2	1				2				1		1							9
計	3	4	2		2	3	2	1		4	6	2	2	2	1	3	2	1	1	41

ている。又、61年の全国の自殺率(人口10万対)は21.2³⁾であるが、岐阜大学の場合は23.1であった。

そこで、今回は、入学時に入学生全員を対象に行なっている健康調査とインタビュー面接の受検者全員の結果と自殺した学生のその結果とを比較検討したので報告する。

結果と考察

岐阜大学では、毎年入学直後に入学生全員を対象に、健康管理カード(以下カードと略記)の健康調査欄(資料1)(14項目の自覚症状と14項目の既往症に○・×印をつけるようになっている)及びUNIVERSITY PERSONALITY INVENTORY A5(以下UPIと略記、資料2)(60項目があり該当する項目に○・×印をつけるようにしてある)を参考資料にして、健康調査・インタビュー面接⁴⁾⁵⁾を行なっている。さらに調査・面接の結果、再面接が必要と判定された学生に対しては、後日改めて呼び出して再面接をおこなっている。実施結果を表3に示した。

資料1

整理番号 **62** 教・工 _____
医・農 _____

健康管理カード	学部		氏名		性別	男・女
	学科		生年月日	昭和 . .	運動部名	

健康調査

次の項目で該当するものに○印を、該当しないものに×印をつけてください。

項 目	回答欄	項 目	回答欄
1. よく風邪をひく		8. めまい・立ちくらみがすることがある	
2. ひどい寝汗をかくことがある		9. 息苦しくなって困ることがある	
3. 口が渇くことがある		10. 疲れやすく元気がない	
4. 顔や下肢がむくむことがある		11. 手足のつることがある	
5. おなかをよくこわす		12. めだって体重が増減したことがある	
6. よく便秘する		13. 関節・腰などに痛みを感じるがある	
7. 頭が重かったり痛んだりすることがある		14. 薬剤使用後に熱や発疹が出たり、気分が悪くなったことがある(例:ペニシリン・サルファ剤)	
身内に脳卒中で亡くなった者がある		身内に結核の者がいる	
身内に結核で亡くなった者がある		身内にがんの者がいる	
身内にがんで亡くなった者がある		身内に糖尿病の者がいる	
身内に高血圧の者がいる		身内に肝臓病の者がいる	
血液は何型ですか	A, B, O, AB(RH +, -)	中・高校時代疾病により長期欠席(3か月以上)したことがある	
ツベルクリン反応	陽性・疑陽性・陰性(年 月 陽転)	色覚異常の有無及び程度	無・有()

次のような病気にかかったことがあれば、何歳の時か記入してください。

1. 肺結核	歳	2. その他の結核	歳	3. 心疾患	歳	4. 腎疾患	歳	5. 肝疾患	歳
6. 気管支喘息	歳	7. 貧血	歳	8. リウマチ	歳	9. 小児まひ	歳	10. てんかん	歳
11. ノイローゼ	歳	12. 精神神経疾患	歳	13. 交通事故による疾患	歳	14. その他()			歳

健康診断再検査

検査項目	実施期日								
エックス線(直接)	所 見								

ふりがな 氏名	昭和 年 月 日 生 才	出身高校 出身大学	年 卒 卒業, 中退
性別 男 女	学部	学 科	高校 大学, 卒業, 中退
現住所(〒) (TEL) () (方)	自宅 下宿 学寮 その他	家 族 実父 才 (健・否) 兄 人, 姉 才 (同居の) 祖父 才 義父母又は継父母 有・無	才 (健・否) 人, 妹 祖母 才
父兄住所 (〒) (TEL) () (氏名)	統所		

下記の質問は多くの人が、しばしば経験することを列挙したもので、これは、あなたの健康の理解と増進のための調査です。番号順によく読んで、あなたが最近1年位の間に、ときどき感じたり、経験したりしたことのある項目の番号に、軽い気持ちで○印を、軽い項目の番号には×印を書いて下さい。これは、あなた個人のことで、他人にもらしたり、上の目的以外に使うことは決してありませんから、安心してありのままに書いて下さい。書き終わったら、もう一度よく読んで、書き落しがないか、また、氏名など記入したか、確かめて下さい。
(所要時間は10分間程度)

◎ 提出は4月8日、9日、10日、11日の間に、保健管理センターへ健康管理カードと共に本人が持参し提出すること。

Ⓢ U. P. I. (A5)

- | | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|---------------------|
| 1. 食欲がない | 16. 不眠がちである | 31. 赤面して困る | 46. 体がだるい |
| 2. 吐気、胸やけ、腹痛がある | 17. 頭痛がする | 32. 吃ったり、声かぶる | 47. 気になると冷汗が出やすい |
| 3. わけもなく便秘や下痢をしやすい | 18. 頸すじや肩がこる | 33. 体がほてったり、冷えたりする | 48. めまいや立ちくらみがする |
| 4. 動悸や脈が気になる | 19. 胸が痛んだり、しめつけられる | 34. 排尿や性器のことが気になる | 49. 気を失ったり、ひきつけたりする |
| 5. いつも体の調子がよい | 20. いつも活動的である | 35. 気分が明るい | 50. よく他人に好かれる |
| 6. 不平や不満が多い | 21. 気が小さすぎる | 36. なんとなく不安である | 51. こだわりすぎる |
| 7. 親が期待すぎる | 22. 気疲れする | 37. 独りでいるとおちつかない | 52. くり返し、たしかめないと苦しい |
| 8. 自分の過去や家庭は不幸である | 23. いらいらしやしい | 38. ものごとに自信をもてない | 53. 汚れが気になって困る |
| 9. 将来のことを心配しすぎる | 24. おこりっぽい | 39. 何事もためらいがちである | 54. つまらぬ考えがとれない |
| 10. 人に会いたくない | 25. 死にたくなる | 40. 他人にわらくとられやすい | 55. 自分のへんな匂いが気になる |
| 11. 自分が自分でない感じがする | 26. 何事も生き生きと感じられない | 41. 他人が信じられない | 56. 他人に陰口をいわれる |
| 12. やる気が出てこない | 27. 記憶力が低下している | 42. 気をまわしすぎる | 57. 周囲の人が気になって困る |
| 13. 悲観的になる | 28. 根気が続かない | 43. つきあいが嫌いだである | 58. 他人の視線が気になる |
| 14. 考えがまとまらない | 29. 決断力がない | 44. ひげ目を感じる | 59. 他人に相手にされない |
| 15. 気分に波がある | 30. 人に頼りすぎる | 45. とりこし苦労をする | 60. 気持が傷つけられやすい |

その他、自分の気になることが
あったら、記入して下さい。

上記について相談をしたいと思いませんか。

1. はい (すぐに・そのうちに) 2. いいえ 3. その他 ()

※ 保健管理センター(学生相談室)では、あなたの方の心身の健康増進のため相談に応じていますので、利用して下さい。

表3 昭和52年度～62年度入学者の健康調査・インテーク面接実施

項目 \ 年度	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62
入学者数 (人)	945	964	943	947	992	981	1,007	993	985	1,012	1,144
受検者数 (人)	839	958	939	943	981	974	1,006	983	975	994	1,120
受検率 (%)	88.8	99.4	99.6	99.6	98.9	99.2	99.9	99.0	99.0	98.2	97.9
要再接触者数 (人)	67	112	124	169	143	134	180	170	184	165	114
要再接触率 (%)	8.0	11.7	13.2	17.9	14.6	13.7	17.9	17.1	18.9	16.6	10.2
再接触済者数 (人)	57	105	116	162	139	126	177	159	164	157	101
再接触受検率 (%)	85.1	93.8	93.5	95.9	97.2	94.0	98.3	93.5	89.1	95.2	88.6

自殺した学生のうち資料のある者9名のUPIの結果と、52年度と59年度の入学者が提出したUPIの結果を集計し、表4に示した。

「25・死にたくなる」の項目に○印をつけた学生は、52年度入学生では18名(2.1%)、59年度では16名(1.6%)であったが、自殺した学生では2名(22.2%)と高率であった。「死にたくなる」に○印をつけた学生に対しては、全員呼び出して再接触を行なっている。過去1年間に自殺したいと思った学生が34.0%いたという報告⁶⁾もあるが、これと比較すると岐阜大学では、はるかに少ないことになるが、これは調査の対象、方法などの違いによるものと考えられる。

表4 UPIによる調査(肯定した数の集計)

項 目	自殺学生の合計		52年度の合計		59年度の合計	
1. 食欲がない			68	8.1%	92	9.4%
2. 吐気、胸やけ、腹痛がある	2	22.2%	103	12.2%	120	12.0%
3. わけもなく便秘や下痢をしやすい	1	11.0%	99	11.8%	138	14.0%
4. 動悸や脈が気になる	2	22.2%	60	7.1%	50	5.1%
5. いつも体の調子がよい	2	22.2%	395	46.9%	477	48.5%
6. 不平や不満が多い	3	33.3%	112	13.3%	144	14.6%

項 目	自殺学生の合計		52年度の合計		59年度の合計	
	数	割合	数	割合	数	割合
7. 親が期待しすぎる	3	33.3%	53	6.3%	67	6.8%
8. 自分の過去や家庭は不幸である	3	33.3%	27	3.2%	33	3.4%
9. 将来のことを心配しすぎる	4	44.4%	85	10.1%	111	11.3%
10. 人に会いたくない	3	33.3%	51	6.1%	42	4.3%
11. 自分が自分でない感じがする			63	7.3%	44	4.5%
12. やる気が出てこない	3	33.3%	232	27.6%	175	17.8%
13. 悲観的になる	4	44.4%	127	15.1%	154	15.7%
14. 考えがまとまらない	5	55.6%	205	24.3%	214	21.8%
15. 気分が波がありすぎる	5	55.6%	273	32.4%	301	30.1%
16. 不眠がちである			73	8.7%	61	6.2%
17. 頭痛がする	1	11.1%	107	12.7%	128	13.0%
18. 頸すじや肩がこる	3	33.3%	189	22.4%	298	30.3%
19. 胸が痛んだり、しめつけられる			56	6.7%	64	6.5%
20. いつも活動的である			201	23.9%	312	31.7%
21. 気が小さすぎる	5	55.6%	246	29.2%	260	26.4%
22. 気疲れする	4	44.4%	198	23.5%	285	29.0%
23. いらいらしやすい	6	66.7%	141	16.7%	219	22.3%
24. おこりっぽい			107	12.7%	209	21.3%
25. 死にたくなる	2	22.2%	18	2.1%	16	1.6%
26. 何事も生き生きと感じられない			89	10.6%	48	4.9%
27. 記憶力が低下している	3	33.3%	307	36.5%	225	22.9%
28. 根気が続かない	2	22.2%	302	35.9%	290	29.5%
29. 決断力がない	6	66.7%	331	39.3%	380	38.7%
30. 人に頼りすぎる	3	33.3%	236	28.0%	255	25.9%
31. 赤面して困る	1	11.1%	148	17.6%	173	17.6%
32. 吃ったり、声がふるえる	2	22.2%	75	8.9%	69	7.0%
33. 体がほてったり、冷えたりする	1	11.1%	61	7.2%	132	13.4%
34. 排尿や性器のことが気になる	1	11.1%	24	2.9%	36	3.7%
35. 気分が明るい	3	33.3%	305	36.2%	496	50.5%
36. なんとなく不安である	6	66.7%	205	24.3%	311	31.6%
37. 独りしているとおちつかない			68	8.1%	80	8.1%
38. ものごとくに自信をもてない	6	66.7%	227	27.0%	271	27.6%
39. 何事もためらいがちである	6	66.7%	271	32.2%	308	31.3%
40. 他人にわるくとられやすい	2	22.2%	71	8.4%	65	6.6%

項 目	自殺学生の合計		52年度の合計		59年度の合計	
	数	割合	数	割合	数	割合
41. 他人が信じられない	1	11.1%	32	3.8%	39	4.0%
42. 気をまわしすぎる	5	55.6%	275	32.7%	312	31.7%
43. つきあいが嫌いである	3	33.3%	66	7.8%	55	5.6%
44. ひけ目を感じる	5	55.6%	150	17.8%	163	16.6%
45. とりこし苦勞をする	6	66.7%	255	30.3%	288	29.3%
46. 体がだるい	1	11.1%	207	24.6%	127	12.9%
47. 気になると冷汗が出やすい	2	22.2%	76	9.0%	75	7.6%
48. めまいや立ちくらみがする	1	11.1%	245	29.1%	264	26.9%
49. 気を失ったり、ひきつけたりする			5	0.6%	4	0.4%
50. よく他人に好かれる	1	11.1%	202	24.0%	352	35.8%
51. こだわりすぎる	5	55.6%	251	29.8%	308	31.3%
52. くり返し、たしかめないと苦しい	4	44.4%	160	19.0%	197	20.0%
53. 汚れが気になって困る	2	22.2%	65	7.7%	72	7.3%
54. つまらぬ考えがとれない			95	11.4%	132	13.4%
55. 自分のへんな匂いが気になる			26	3.1%	32	3.3%
56. 他人に陰口をいわれる			14	1.7%	27	2.7%
57. 周囲の人が気になって困る	2	22.2%	119	14.1%	148	15.1%
58. 他人の視線が気になる	4	44.4%	198	23.5%	275	28.0%
59. 他人に相手にされない	2	22.2%	18	2.1%	14	1.4%
60. 気持が傷つけられやすい	5	55.6%	169	20.1%	166	16.9%

次に表4で示されているごとく、UPIで○印が多くつけられた項目を見ると、自殺学生では、「23. いらいらしやすい」、「29. 決断力がない」、「36. なんとなく不安である」、「38. ものごと自信をもてない」、「39. 何ごとともためらいがちである」、「45. とりこし苦勞をする」が、いずれも66.7%であったのに対し、52・59年度入学生全体の同じ項目の肯定率は、「いらいらしやすい」16.7%、22.3%、「決断力がない」39.3%、38.7%、「なんとなく不安である」24.3%、31.6%、「ものごと自信をもてない」27.0%、27.6%、「何ごとともためらいがちである」32.2%、31.3%、「とりこし苦勞をする」30.3%、29.3%であり、自殺学生と比較すると肯定率は低い、しかし、入学生全体では肯定率の高い項目（5. 20. 35. 50.の項目は除く）であった。なお、60項目のうち一人当りの平均肯定数は、自殺学生は16. 52年度入学生は9. 59年度入学生は9で、自殺した学生は、他の学生と比較し項目の多くに○印をつける傾向が認められた。

又、59・60・61・62年度入学生で、「死にたくなる」という項目に○印をつけた学生のUPIを集計したものを表5に示した。これらの学生が○印を多くつけた項目を見ると、「15. 気分が波が

表 5 昭和59～62年度U. P. I 集計表

年度別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
昭和59年度	男・女数	10	2	4	2	3	5	2	4	5	3	3	7	9	7	9	2	4	6	4	2	7	8	9	8	10	5	7	7	7	5	
	男	6	1	3	4	5	1	3	3	3	3	3	4	5	5	5	1	4	1	1	2	5	3	3	6	1	1	3	4	5		
	女	16	3	7	2	7	10	3	7	8	6	6	10	13	12	14	2	5	10	5	3	9	13	12	11	16	6	10	11	12	7	
昭和60年度	男・女数	8	1	1	2	1	7	2	3	4	2	6	5	5	5	1	2	4	3	1	4	5	6	5	8	5	3	4	4	3		
	男	8	4	1	1	4	4	1	1	1	2	3	3	5	5	7	3	2	5	3	2	3	4	7	5	8	4	7	5	4	3	2
	女	16	5	2	2	3	5	11	3	4	5	4	9	8	10	12	4	4	9	6	3	7	9	13	10	16	9	10	9	8	6	2
昭和61年度	男・女数	9	2	5	2	3	6	2	1	5	3	3	4	6	7	1	4	3	3	4	6	5	5	4	9	4	1	4	4	7		
	男	11	2	5	2	1	4	8	2	1	4	3	5	4	8	7	8	2	5	6	1	2	6	10	8	9	11	6	7	8	6	5
	女	20	4	10	4	10	10	3	6	7	6	8	14	13	15	15	3	9	9	4	6	12	15	13	13	20	10	7	11	12	13	5
昭和62年度	男・女数	8	2	2	2	3	5	1	2	5	2	1	6	8	6	6	1	4	3	2	1	4	4	4	2	8	2	4	6	8	5	1
	男	7		2	5	1	4	1	3	3	3	4	3	3	3	6	3	4	5	2	1	4	7	6	5	7	3	3	4	4	6	2
	女	15	2	4	7	1	4	9	2	5	8	5	4	10	11	9	12	4	8	4	2	8	11	10	7	15	5	7	10	12	11	3
合計	男・女数	35	7	12	7	13	19	6	14	17	10	13	22	28	24	27	5	14	16	12	8	21	22	24	19	35	16	13	21	23	22	6
	男	32	7	11	9	3	13	5	8	11	11	14	20	24	20	26	8	12	20	7	6	15	26	24	22	32	14	17	19	20	20	11
	女	67	14	23	16	10	26	40	11	22	28	27	36	48	44	53	13	26	36	19	14	36	48	48	41	67	30	40	43	42	17	
昭和59年度	男・女数	10	1	3	1	3	7	1	8	7	3	5	3	7	8	3	1	5		1	7	4	1	6	1	2	5	5	1	6	271	
	男	6	2	1	4	4	2	5	3	2	3	6	3	4	6		1	3		3	5	3		3		2	5	3	6	165		
	女	16	3	4	1	7	11	3	13	10	5	6	11	6	14	3	2	8		4	12	7	1	9	1	2	7	10	4	12	436	
昭和60年度	男・女数	8	1	1	2	6	1	5	4	4	3	2	5	6	6	4	2	4	1	1	5	2	1	1	1	1	1	1	1	6	183	
	男	8	1	1	2	6	1	5	4	4	3	2	5	6	6	4	2	4	1	1	5	2	1	1	1	1	1	1	1	1	186	
	女	8	1	1	2	6	6	6	5	4	4	3	3	6	3	3	1	3			4	1	2	4		1	5	4	4	4	186	
昭和61年度	男・女数	16	2	2	4	12	1	11	9	8	7	6	5	11	9	7	3	7	1	1	9	3	3	5	1	2	6	5	1	10	369	
	男	9	4	1	2	5	8	2	5	5	2	4	5	4	6	5	2	1	6	3	2	5	2	4	1	3	4	6	2	4	225	
	女	11	2	5	1	5	8	7	6	4	6	9	4	7	7	4	4	4	1	1	9	3	6	6	3	6	6	1	8	8	285	
昭和62年度	男・女数	20	6	6	3	10	16	2	12	11	6	10	14	8	13	12	6	1	10	1	4	11	8	2	10	1	6	10	12	3	12	510
	男	8	1	3	1	7	2	5	6	2	4	6	5	7	3	3	1	5		3	7	2	1	3		2	5	5	2	7	208	
	女	7	1	3	1	3	6	1	5	4	1	5	1	6	4	2		5		3	3	2	3	3	3	3	3	6	4	186		
合計	男・女数	15	2	3	4	13	3	10	10	3	4	11	6	13	7	5	1	10		6	10	4	4	6	3	2	8	11	2	11	394	
	男	35	7	5	6	11	28	6	23	22	11	14	19	14	25	12	5	20	1	8	21	13	5	14	3	8	15	17	6	23	887	
	女	32	6	10	2	14	24	3	23	18	11	13	23	11	23	20	9	2	15	1	7	21	9	5	16	3	4	16	21	4	22	822
合計	67	13	15	8	25	52	9	46	40	22	27	42	25	48	21	7	35	2	15	42	22	10	30	6	12	31	38	10	45	1,709		

ありすぎる」が67名中53名、79.1%で最も多く、次に「36. なんとなく不安である」が52名、77.6%と続き、「13. 悲観的になる」、「22. 気疲れする」、「23. いらいらしやすい」、「44. ひげ目を感じる」が、いずれも48名、71.6%となっている。

以上、UPIからは、自殺学生及び「死にたくなる」を肯定した学生に、特徴的な所見は見出すことはできなかった。

次に、カードによる健康調査の自覚症状の集計（表6）では、自殺した学生は9名中4名が「5. おなかをよくこわす」を肯定していた（胃腸の調子が悪いということがきっかけで自殺した学生が2名いた）以外は、特徴的な傾向は認められなかった。

表6 健康管理カードによる健康調査の集計結果

自覚症状	自殺学生の合計	52年度の合計	59年度の合計
1. よく感冒をひく	1	231	201
2. ひどい寝汗をかくことがある		50	24
3. 口が渇くことがある	2	118	154
4. 顔や下肢がむくむことがある	1	14	20
5. おなかをよくこわす	4	222	230
6. よく便秘する	1	115	103
7. 頭が重かったり痛んだりすることがある	2	210	171
8. めまい・立ちくらみがすることがある	3	362	318
9. 息苦しくなって困ることがある		17	27
10. 疲れやすく元気がない	2	85	78
11. 手足のつることがある	2	173	182
12. めだって体重が増減したことがある		45	66
13. 関節・腰などに痛みを感ずることがある	1	146	202
14. 薬剤使用後に熱や発疹がでたり、気分が悪くなったことがある		35	34

以上から、精神衛生活動としての健康調査・インタビュー面接・UPIは、既に報告^{3) 4)}したように、メリットはあるものの、自殺既遂例では、自殺予防としての効果は、特に見当たらなかった。

事例の検討

昭和43年度から61年度までの本学学生で自殺した事例を表7に示した。事例13までは、既に報告¹⁾

したので、今回は事例14・15について検討し報告する。

表7 自殺学生（昭和43～61年度）

事例番号	除籍年月日	学 科 学 年	氏名	年齢	そ の 他
1	45. 2. 3 ?	土木. 4	H. H	23才	下宿生 心中 服毒 木曾山中
2	45. 7. 24	機械. 4	K. H	21才	自宅生 心中 家出 1週間後名鉄各務原線に飛び込み
3	47. 8. 24	土木. 3	Y. M	20才	下宿生 これから帰宅すると自宅へ電話して自宅近くの近鉄飛び込み
4	47. 8. 14	英文. 1	M. S	21才	下宿生 下宿で15:00頃自殺 皮膚炎治療中とのことであった
5	48. 4. 3	美工. 4	S. W	23才	詳細不明
6	48. 8. 2	合化. 4	H. S	23才	自宅生 縊首 自宅の物置きで 一度は危機介入ができたが
7	49. 1. 7	農化. 2	Y. T	20才	自宅生 服毒 詳細不明
8	52. 10. 10	国文. 1	T. T	19才	自宅生 服毒（農薬？） 疲れやすいと記載していた
9	53. 3. 29	医学. 4	Y. T	24才	自宅生 ノイローゼ？ 復学準備中 その他詳細不明
10	53. 9. 7	農工. 1	K. H	19才	自宅生 慢性胃炎といわれた直前ビルから飛び降り（当日は登校していた）
11	54. 3. 29	農工. 2	S. W	20才	下宿生 服痛で苦しんでいたと遺書 近鉄に飛び込み
12	54. 4. 3	家禽. 3	M. S	21才	下宿生 本学キャンパス内 家禽棟4Fから飛び降り 目が悪く治療中？
13	58. 3. 5	社会. 2	Y. T	20才	自宅生 服毒（農薬？） その他詳細不明
14	59. 7. 21	教育. 1	S. O	18才	自宅生（女） 自宅近くの鉄塔から飛び降り 精神科？治療中
15	62. 2. 21	医学. 2	H. S	24才	自宅生 本学キャンパス内 教養棟4Fから飛び降り 精神科受診後？

事 例 14

自宅通学、女子学生であった。

UPIの「死にたくなる」「自分の過去や家庭は不幸である」など19項目に○印がつけられ、健康調査の既往症欄に「ノイローゼ・17才」と記入してあった。当然のことであるが、再接触をすすめた。その時は多くは語らなかったが、危機介入の必要性は感じられなかった。その後、大学の統合移転の時期になり、期末試験が行なわれていた時に、自宅の近くの高圧線の鉄塔から飛び降り自殺した。成績を苦しんでいたと、新聞に報道されていた。

そして2年余り過ぎて、家族（実姉）から話を聞く機会があった。

高校進学についていろいろ悩み、本人は就職したいと希望したが、高校だけは出ておいた方がよいという親の意見で高校へ進学した。1・2年の時は特に問題はなかったが、3年のテストの時、落ち込み、共通一次の時などは最悪であった。

高校3年の12月頃から治療を受けていた。受診の時は、母親か自分（姉）が付き添って行き、本人は医師とはよく話をした。医師の前では、とてもいい子でハキハキしており、しっかりと話をす

るので、医師も まあまあですね といわれる。家では何もしない（出来ない）し、ごろごろして
いて心配であると家族が医師に話をしても、医師は、そうかなあーと信じられないと言った口振り
であった。とにかく、外ではいい子で全くわからなかった。自殺決行の2日前までアルバイトをし
ていた。アルバイト先では、明るく、全く変わった様子はなかったと聞いている。

家では、多くを語らなかったが、テストを気にして、結果が出るまでくよくよ悩んでいた。しか
し、テスト結果はいずれもそれ程悪くなくて、高校では、英語が好きでトップの成績であった。い
つも誰かに後から追いかけていて、抜かれるような気がすると言って悩んでいた。大学では、
自分が治療を受けていたので心理学を勉強したいと、その領域の学科を第一志望に選択した。

事例 15

自宅通学、男子学生であった。

UPIの備考欄に、そのうちに相談したいとの記入あり、「自分の過去や家庭は不幸である」を
含めて13項目に○印がつけてあった。インタビュー面接時、他大学を中退して入学しましたと語っ
ている。カードの健康調査欄には、「口が渇くことがある」、「顔や下肢がむくむことがある」、「頭
が重かったり、痛んだりすることがある」、「疲れやすく元気がない」に○印がしてあった。再面
接をすすめた。その時は、入学について両親との間で意見が違い、親の希望に反した人生を歩み出
してしまった、弟も、親の希望に反して自分の好きな事（芸術）をしている。親がかわいそうでと
話していたが、やはり、多くは、話さなかった。危機介入の必要性は感じなかった。

その後、単位の取得は順調であったようであるが、保健管理センターへは、入学時の健康調査・
インタビュー面接時と再接面に来所した以外は訪れていなく、健康診断も一度も受けていなかった。

教養部としての最後の期末試験中に学内で飛び降り自殺した。大学関係者は、成績が悪いわけ
ではないし、原因らしきものは全然わからないと話していた。又、家族の話では、2月初旬よりノイ
ローゼ気味となったので、受診、期末試験がおわってから検査を受けることになっていた。家族に
も多くは話さず、自殺の心当たりはなかったということであった。

大原⁸⁾は、自殺者の心理的特徴の一つとして、自殺が絶望のエア・ポケットから生ずるとい
っている。人間は、折りにふれて絶望的になるものであるがこの絶望の期間はそれほど長期間持続
するものではない。問題になることは、この絶望の期間をどう過すかということである。考えよう
によれば、人間は孤独に、絶望と戦い、それを克服して大きく育っていく、ともいえる。しかし、
それは、保護的な境遇にいて、健全なパーソナリティの持ち主についていえることである。人間関
係が希薄だったり、歪んでいたり、あるいは、性格的に偏っていたりすると、孤独な絶望はまさに
地獄である。この絶望のエア・ポケットに、誰でもいいから（専門家でなくても、医学的知識が
なくてもいい）暖かい手をさしのべてやること（危機介入）が必要である。と強調している。

自殺する場所も、方法も決めていて、後は決行の日時を決めるだけという自殺願望学生に会った
時、本人の話を真剣に聞き、一緒に考え、苦しみ、そして心から心配している者がいることを忘れ
ないでと告げる事位しかできななかったことを体験したこともある。又、自殺未遂したことのある学

生からは、一日がかりで話を聞き、その学生から話をすることがこんなにも楽しいことであることを初めて知った、生きる力が湧いて来たという言葉聞いたこともある。その学生とは、その後も付き合いが続いているが、りっぱに、人生を生きている。

おわりに

本学学生の自殺の資料と、入学生全員を対象として毎年実施している健康調査・インタビュー面接及びUPIの結果を検討し、さらに最近の自殺した学生2例についても検討した。その結果は、次のとおりであった。

- 1) 岐阜大学では最近、1年間隔で一名づつの自殺者がでている。
- 2) 岐阜大学の自殺者の割合は、61年の全国の自殺割合（人口10万対21.2）よりわずかに高かった（人口10万対23.1）。
- 3) 健康調査・インタビュー面接及びUPIは、自殺既遂例では自殺予防としては余り効果的ではなかった。
- 4) 本学学生の最近の自殺例のうち、なんらかの形で治療中か治療を受けたことがあるというのに自殺を決行してしまった者が6名もいたということは、ここでは何も述べなかったが休・退学に関わる問題と同様に今後の課題として考える必要がある。特に、抑うつ状態の時は、自発性に乏しいことがその特徴でもあるので、どうしても、本人の身近にいる人々の協力が是非とも必要である。特に家族の協力を得るために、大学関係者からの家族に対する働きかけが必要である。特に、今回報告した事例のような場合には、自発的に受診したり、来談することは期待できないので、まわりの人々が本人に働きかけて、速やかに専門家の協力が得られるように構ずる必要がある。

全国大学保健管理協会の研究集会⁷⁾でも多くの人々が強調していることであるが、保健管理センターの教職員のみでま精神衛生・相談活動には限界があり、学内外の協力者が是非共必要であることを改めて強調したい。

文 献

- 1) 中 尾 けさじ他：自殺学生の検討、岐阜大学保健管理センター年報、8. 1984
- 2) 中 尾 けさじ他：自殺学生の検討、保健の科学、26. 1984
- 3) 厚 生 省：昭和61年人口動態統計の概況、日本医事新報、3301. 1987
- 4) 中 尾 けさじ他：岐阜大学における精神衛生活動について(1)、学校保健研究、27. 1985
- 5) 中 尾 けさじ他：岐阜大学における精神衛生活動について(2)、学校保健研究、27. 1985
- 6) 桜 井 俊 子他：4年制大学1983年度新入生の自殺願望について、全国大学保健管理研究集会報告書、21. 1983
- 7) 中 島 潤 子：精神的に問題のある学生の状況、全国大学保健管理研究集会報告書、23. 1985
- 8) 大 原 健士郎：家族関係の病理、自殺者の心理、日本放送出版協会、1986

IV 保健管理センター規則等

1) 岐阜大学保健管理委員会規則

(趣 旨)

第1条 岐阜大学（岐阜大学工業短期大学部（以下「短期大学部」という。）を含む。（以下「本学」という。）における学生及び職員の保健管理に関する基本的な事項を審議するため、本学に岐阜大学保健管理委員会（以下「委員会」という。）を置き、委員会に関し必要な事項は、この規則の定めるところによる。

(組 織)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- 一 学 長
- 二 各学部長、教養部長及び短期大学部主事
- 三 医学部附属病院長
- 四 保健管理センター所長
- 五 事務局長
- 六 学生部長
- 七 その他学長が必要と認める者

2 前項第7号に規定する委員は、学長が委嘱し、その任期は1年とし、再任を妨げない。

(審議事項)

第3条 委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

- 一 保健管理の基本方針に関する事項
- 二 環境衛生の維持改善に関する事項
- 三 保健管理センターの組織及び運営に関する重要事項
- 四 保健管理センターの所長及び教官の人事に関する事項
- 五 その他保健管理に関する重要事項

2 前項第4号に掲げる事項について審議する場合には、前条第1項第5号及び第7号に規定する委員を除くものとする。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(委員以外の者の出席)

第5条 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者を出席させることができる。

(会議)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ会議を開くことができない。

(専門委員会)

第7条 委員会は、特定の事項を調査審議するため、専門委員会を置くことができる。

2 専門委員会の委員は、委員長が委嘱する。

(幹事)

第8条 委員会に幹事を置き、庶務部長及び学生部次長をもって充てる。

2 幹事は、委員会の事務を処理する。

附 則

この規則は、昭和49年7月16日から施行する。

2) 岐阜大学保健管理センター規則

(趣 旨)

第1条 岐阜大学保健管理センター（以下「保健管理センター」という。）は、岐阜大学（岐阜大学工業短期大学部（以下「短期大学部」という。）を含む。以下「本学」という。）における学生及び職員の心身の健康の保持増進を図るものとし、保健管理センターの組織及び運営に関し必要な事項は、この規則の定めるところによる。

(業 務)

第2条 保健管理センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- 一 学内の保健計画の立案について指導援助すること。
- 二 定期及び臨時の健康診断の業務を行うこと。
- 三 健康相談に応ずること。
- 四 救急処置を行うこと。
- 五 健康診断の事後措置等健康の保持増進について必要な指導を行うこと。
- 六 学内の環境衛生及び伝染病予防について指導援助すること。
- 七 保健管理の充実向上のための調査・研究を行うこと。
- 八 その他健康の保持増進について必要な専門的業務を行うこと。

(組 織)

第3条 保健管理センターに次の職員を置く。

- 一 所長
- 二 保健管理医
- 三 カウンセラー
- 四 技術職員
- 五 事務職員

(分 室)

第4条 保健管理センターには、必要に応じ分室を置くことができる。

- 2 分室に関し必要な事項は、別に定める。

(所長及び保健管理医等)

第5条 所長は、本学の教授をもって充て、保健管理センターの業務を掌理する。

- 2 保健管理医及びカウンセラーは、本学の教官をもって充て、保健管理に関する専門的業務を行う。
- 3 前2項に規定する所長及び教官の選考に関し必要な事項は、別に定める。

(委員会)

第6条 保健管理センターに保健管理センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

- 2 委員会は、所長の諮問に応じ、保健管理センターの運営に関する具体的な方策その他必要な事項を審議する。

(委員会の組織)

第7条 委員会は、次の各号に掲げる委員で組織する。

- 一 所長
- 二 学生部長
- 三 保健管理医
- 四 カウンセラー
- 五 学生相談室員
- 六 学校医
- 七 各学部、教養部及び短期大学部から選出された教官 各1人
- 八 庶務部長
- 九 学生部次長
- 十 その他委員会が必要と認める者

- 2 前項第7号及び第10号に規定する委員は、学長が委嘱し、その任期は、1年とし、再任を妨げ

ない。

(会 議)

第8条 所長は、委員会を招集し、その議長となる。

(事 務)

第9条 保健管理センターに関する事務は、当分の間、学生部厚生課において処理する。

附 則

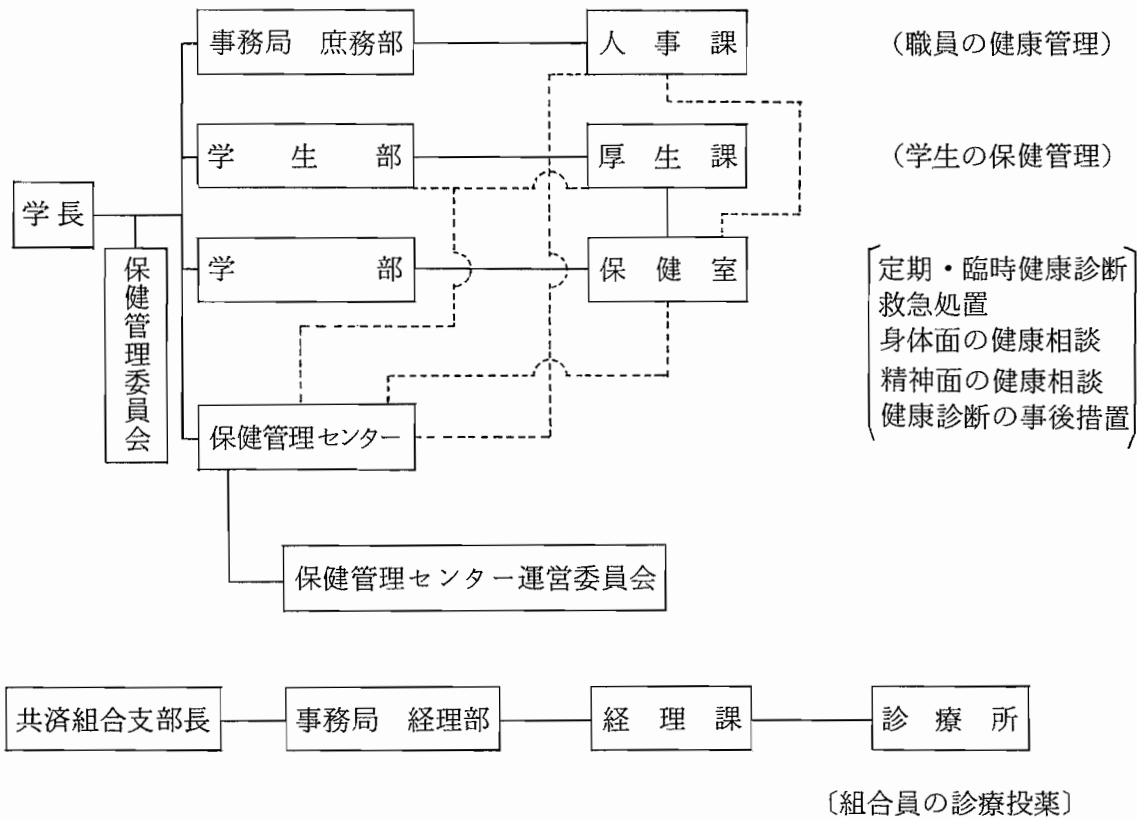
1 この規則は、昭和49年7月16日から施行する。

2 第2条の規定にかかわらず、当分の間、同条第2号に規定する業務のうち職員に係る部分については庶務部人事課、学生に係る部分については学生部厚生課において、それぞれ処理するものとする。

附 則

この規定は、昭和55年12月18日から施行し、昭和55年4月1日から適用する。

3) 保健管理機構略図



4) 保健管理医・学校医及び学生相談室員の担当日時

柳戸地区 岐阜市柳戸1番1

<0582>30-1111
内線 2338

曜日	担当者	専門科目	担当時間
月	① 保 田 中 教 授	神 經 精 神 科	9 : 00 ~ 17 : 00
	① 保 村 瀬 助 手	内 科	13 : 00 ~ 17 : 00
	① 校 加 納 講 師	"	9 : 00 ~ 12 : 00
火	① 保 田 中 教 授	神 經 精 神 科	9 : 00 ~ 17 : 00
	① 保 武 知 助 手	内 科	9 : 00 ~ 12 : 00
	① 保 村 瀬 助 手	"	13 : 00 ~ 17 : 00
	① 相 返 田 教 授	心 理 学	11 : 00 ~ 13 : 00
水	① 保 田 中 教 授	神 經 精 神 科	9 : 00 ~ 17 : 00 (17 : 00 ~ 19 : 00) (第 2 ・ 第 4 水 曜 日)
	① 保 村 瀬 助 手	内 科	9 : 00 ~ 17 : 00
	① 保 武 知 助 手	"	13 : 00 ~ 17 : 00
	① 校 荒 木 助 手	"	9 : 00 ~ 12 : 00
	① 相 奥 田 教 授	保 健 体 育	13 : 00 ~ 15 : 00
木	① 保 田 中 教 授	神 經 精 神 科	9 : 00 ~ 17 : 00
	① 保 村 瀬 助 手	内 科	9 : 00 ~ 12 : 00
	① 保 武 知 助 手	"	13 : 00 ~ 17 : 00
	① 相 丸 井 教 授	人 格 心 理 学	13 : 00 ~ 15 : 00
	① 相 古 田 助 教 授	保 健 体 育	13 : 00 ~ 15 : 00
	① 校 平 野 医 師	内 科	13 : 00 ~ 17 : 00
金	① 保 田 中 教 授	神 經 精 神 科	9 : 00 ~ 17 : 00
	① 保 武 知 助 手	内 科	13 : 00 ~ 17 : 00
	① 相 馬 路 助 教 授	食 物 学	15 : 00 ~ 17 : 00
土	① 保 田 中 教 授	神 經 精 神 科	9 : 00 ~ 12 : 00
	① 保 武 知 助 手	内 科	9 : 00 ~ 12 : 00

司地区 岐阜市司町40

<0582>65-1241

(S 61. 4. 1 ~ 62. 3. 31)

曜日	担当者	専門科目	担当時間
月	① 校 鈴 木 講 師	耳 鼻 咽 喉 科	13 : 00 ~ 14 : 00
火	① 校 船 橋 助 教 授	眼 科	13 : 00 ~ 14 : 00
木	① 校 林 助 手	外 科	13 : 00 ~ 14 : 00
	① 校 和 田 助 手	整 形 外 科	13 : 00 ~ 14 : 00
金	① 校 今 枝 講 師	放 射 線 科	13 : 00 ~ 14 : 00
	① 校 松 田 医 員	内 科	13 : 00 ~ 17 : 00

・ 司地区での診療・相談を希望する者は、必ず事前に保健管理センター、又は医学部学務課厚生係に申し出て係員の指示に従ってください。

※ 保健管理医は ① ・ 学校医は ① ・ 学生相談室員は ① で示す。

5) 関係職員 (昭和61年度)

(昭和 61. 5. 1 現在)

○ 保健管理委員会委員

学	長	早	野	三	郎
教 育 学 部	長	高	野	卓	哉
医 学 部	長	磯	野	日 出	夫
工 学 部	長	河	村	三	郎
農 学 部	長	磯	貝	岩	弘
教 養 部	長	深	井	龍	雄
工業短期大学部	主事	伊	藤		融
医学部附属病院	長	山	本	道	雄
保健管理センター	所長	武	藤	泰	敏
事 務 局	長	池	谷	勝	昭
学 生 部	長	松	岡	三	良

○ 保健管理センター運営委員会委員

保健管理センター	所長	武	藤	泰	敏
学 生 部	長	松	岡	三	良
保 健 管 理 医		田	中		實
	〃	武	知	桂	史
	〃	石	川		勉
教 育 学 部	教 授	橋	本	昭	夫
	〃	丸	井	澄	子
教 育 学 部	助 教 授	古	田	善	伯
	〃	馬	路	泰	蔵
医 学 部	教 授	大	谷		勲
工 学 部	教 授	水	田	政	輝
農 学 部	助 教 授	佐	々 木	榮	英

教 養 部 教 授	堀 越	智
“	返 田	健
“	奥 田	英 二
工 業 短 期 大 学 部 教 授	堀 田	一 二 三
医 学 部 助 教 授	船 橋	正 員
“ 助 手	林	勝 知
“ “	五 島	英 一
医 学 部 附 属 病 院 講 師	加 納	隆
“ “	鈴 木	智 雄
“ “	今 枝	孟 義
“ 助 手	島 袋	盛 一
“ “	中 田	孝 一
庶 務 部 長	馬 越	穎 一
学 生 部 次 長	渡 辺	省 吾
開 業 医	平 野	高 弘

○ 保健管理センター

所 長 (併)	医 学 部 教 授	武 藤	泰 敏
保 健 管 理 医	教 授	田 中	實 史
“	助 手	武 知	桂 勉
“	“	石 川	“
	保 健 婦	中 尾	け さ じ
	看 護 婦	林 垣	可 代 子
	“	丹 羽	美 穂 子
	“	山 中	栄 子
	“	栗 本	良 子
学 生 相 談 室 員	教 育 学 部 教 授	丸 井	澄 子
“	“ 助 教 授	古 田	善 伯

学生相談室員	教育学部助教授	馬	路	泰	蔵
〃	教養部教授	返	田		健
〃	〃	奥	田	英	二
〃	医学部助手	五	島	英	一
〃	医学部附属病院講師	加	納		隆
〃	〃 助手	島	袋	盛	一
医師(学校医)	医学部助教授	船	橋	正	員
〃	医学部助手	林		勝	知
〃	〃	五	島	英	一
〃	医学部附属病院講師	加	納		隆
〃	〃	鈴	木	智	雄
〃	〃	今	枝	孟	義
〃	〃 助手	中	田		孝
〃	〃 〃	島	袋	盛	一
〃	開業医	平	野	高	弘

○司地区(再載)

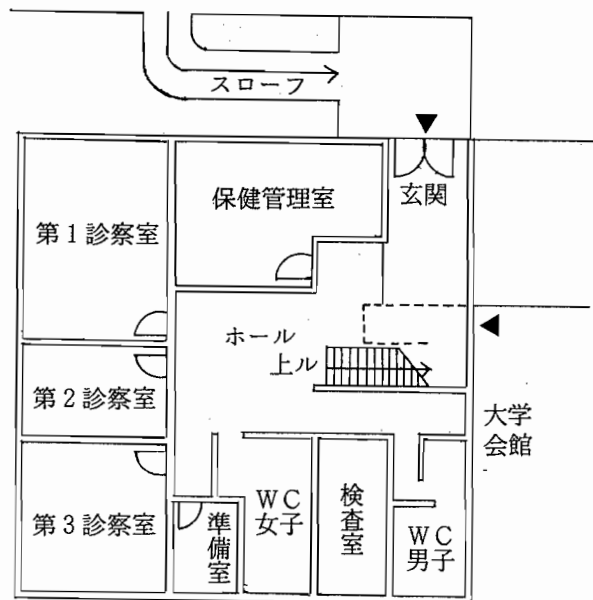
医師(学校医)	医学部助教授	船	橋	正	員
〃	医学部助手	林		勝	知
〃	〃	五	島	英	一
〃	医学部附属病院講師	今	枝	孟	義
〃	〃	鈴	木	智	雄
〃	医学部附属病院助手	中	田		孝

保健管理センターに関する事務担当課、学生部厚生課

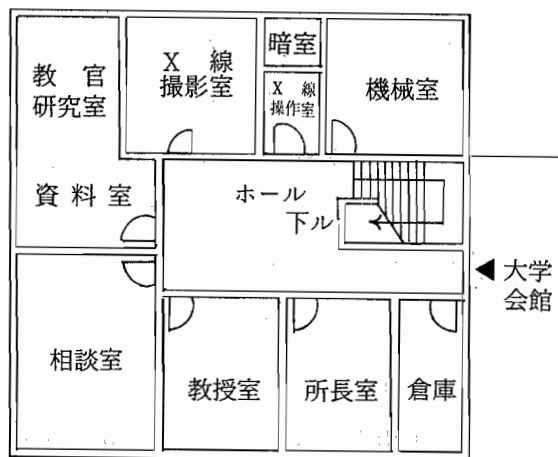
厚生課長	文部事務官	大	池		守
保健係長	〃	成	田		宏

6) 保健管理センター平面図

1 階 (260 m²)



2 階 (265.1 m²)



7) 主要設備備品

品名	規格	数量
グルコースアナライザー	米国YSI社製23A型	1
顕微鏡	オリンパス EHS 423	1
〃	オリンパス BHC 111	1
写真機	ニコンF2	1
スライド映写機	フジックスSPT 5000	1
〃	エルモ HP 2450 DX	1
複写機	リコーFT 4510 S	1
映写機	エルモA-33	1
〃	エルモ ST-800 8%	1
〃	キャビン4A・アタッチュ	1
〃	SLネオビジョン102 S型	1
撮影機	エルモ600S 8%	1
X線撮影装置	東芝KXO-15型	1
心電計	2要素直記式 RS-200S	1
〃	3要素直記式 FD-219型	1
〃	3要素自動 FD-36	1
〃	TR-1 英国レイノルズメディカル社製	2
遠心機	久保田卓上用 KC-25A	1
〃	ヘマトクリット用 KH-120M	1
マイクロ波治療機	ミナト医科学 ^株 製 MT-300 N型	1
脳波計	三栄測器 1A12-14 C型	1
フリッカー値測定器	八神理科 FV-20 自動式	1
脳波分析装置	三栄測器 7P11 型	1
肝機能ハイスタット	日立 700 型	1
自動血球計数装置	東亜医用電子 ^株 製 CC-130 システム	1
中性脂肪測定器	京都第一科学 TMG-2020	1
〃	ヤガミ CH-401 FT	1
間接シャーカステン	オリオン製 ORS-4013 型	1

品名	規格	数量
眼底写真撮影装置	キャノン CR2-45 NM	1
ファイバースコープ	オリンパス OES	1
高輝度光源装置	オリンパス CLV-F10	1
電子走査超音波診断装置	アロカ製 SSD-210	1
英文タイプライター	トライアंक製 ガブリエル 5000	1
パーソナルコンピューター	NEC PC-9801	1
テレビ	ソニー-KV 1300	1
〃	ソニー-KV 21×BRI	1
テープレコーダー	東芝 RT 310 F	1
〃	AIWA キャリングコンポ CV-5	1
ビデオコーダー	ソニー-SL 7100	1
〃	ナショナル AG 2700	1
データプレート	ワットマン 440型	1
照度計	LX-300	1
上皿天秤	ヤガミ US-120	1
アイソパワーエルゴ メーターシステム	竹井機器製	1
血圧計	アコマ 標準水銀	5
〃	ヤガミ スタンド式 外	6
消毒噴霧器	バーゲスエレクトリック ミスター	2
シャーカステン	オリオン卓上用	3
寝台		4
担架	NK-1 スチールパイプ 外	3
滅菌器	オートクレーブトミ- 220 A	1
聴診器		4
うがい器	SW-5 S	1
電子握力計		4
音叉		4
車椅子	KAMO KM-8	1
処置台	NK-30	1

品名	規格	数量
尿自動分析器	エームスクリニテック SG	3
呼吸機能測定器	AS-500 ミナト医科学	1
蛋白質計	アタゴ製 No. 330	1
検耳鏡	EN-29100	1
人工蘇生器	救急用 NKP-1型	1
肥満度計算器	ヤガミ 8336-220	1
皮下脂肪計	ヤガミ NK-60	1
人工呼吸訓練用人形	アイカニューレサッアン	1
実験台	ヤマト科学	5
薬品戸棚		3
保管庫		11
冷蔵庫		5
書庫		3
物品棚		2
流し台		3
肺活量計		2
背筋力計	スパート スタンダード型	1
体重計	MSH-150 外	2
身長計	ヤガミ デジタル式 外	3
視力検査器	ヤガミ 8350-220 ES	3
坐高計	ヤガミ デジタル式	3
医療バック	G型	5
スクリーン	三脚スタンド式	1
カロリナー	スズケン 栄養指導用	1

(参 考)

昭和61年度 入学生の学生教育研究災害傷害保険加入状況

61. 5. 14 現在

学 部	学 生 数	加 入 者 数	加 入 率
教 育 学 部	328人	320人	97.6%
医 学 部	84	79	94.0
工 学 部	389	373	95.9
農 学 部	211	204	96.7
小 計	1,012	976	96.4
医 学 研 究 科	18	6	33.3
工 学 研 究 科	89	71	79.8
農 学 研 究 科	60	44	73.3
教 育 専 攻 科	1	1	100.0
重複障害教育教員養成課程	11	10	90.9
農 業 別 科	1	1	100.0
小 計	180	133	73.9
合 計	1,192	1,109	93.0

昭和61年度 入学生の学生健康保険互助会加入状況

61. 5. 14 現在

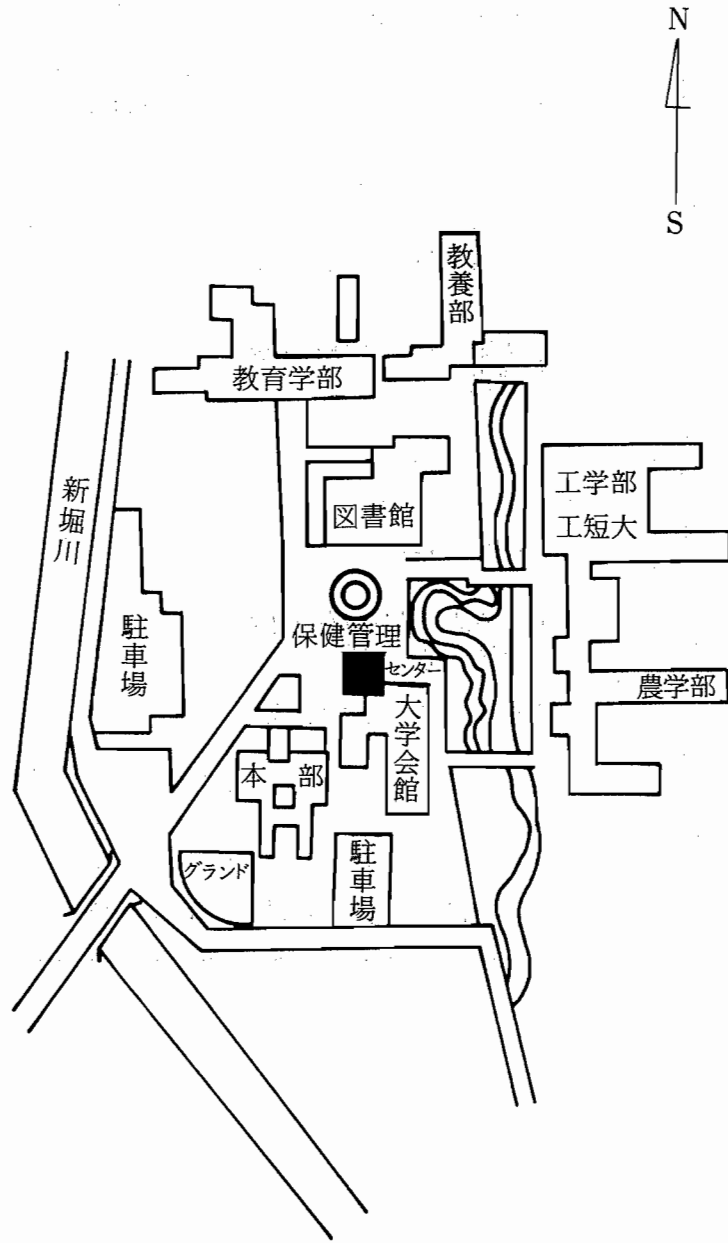
学 部	学 生 数	加 入 者 数	加 入 率
教 育 学 部	328人	317人	96.6%
医 学 部	84	80	95.2
工 学 部	389	371	95.4
農 学 部	211	204	96.7
小 計	1,012	972	96.0
医 学 研 究 科	18	6	33.3
工 学 研 究 科	89	71	79.8
農 学 研 究 科	60	42	70.0
教 育 専 攻 科	1	1	100.0
重複障害教育教員養成課程	11	10	90.9
農 業 別 科	1	1	100.0
小 計	180	131	72.8
合 計	1,192	1,103	92.5

学生教育研究災害傷害保険適用一覽

事故発生 年 月	学 部 学 科	学年	傷 病 名	事故態様	治 療 期日(日)	保険金額
61. 4	農 学 部 農 芸 化 学 科	2	腰椎捻挫	正 課 中	4	6,000
"	工 学 部 精 密 工 学 科	4	左大腿屈筋皮下損傷	課 外 活 動 (学校施設内)	14	30,000
61. 5	工 学 部 合 成 化 学 科	4	右膝内側々副靱帯損傷	(")	14	30,000
61. 6	農 学 部 家 禽 畜 産 学 科	4	右人さし指裂傷	正 課 中	6	6,000
"	農 学 部 獸 医 学 科	1	左足首捻挫及び右手首捻挫	課 外 活 動 (学校施設内)	15	30,000
"	農 学 部 農 芸 化 学 科	3	左鎖骨骨折	(")	14	30,000
"	教 育 学 部 音 楽 学 科	1	右鎖骨骨折	正 課 中	9	15,000
"	工 学 部 機 械 工 学 科	2	左足関節外踝骨折	学校行事中	37	50,000
"	教 育 学 部 体 育 学 科	1	左足関節外側靱帯損傷	正 課 中	10	15,000
61. 7	教 育 学 部 英 語 英 文 学 科	4	左膝関節部損傷	正 課 中 (教育実習中)	6	6,000
"	教 育 学 部 体 育 学 科	1	右足関節捻挫	課 外 活 動 (学校施設外)	16	30,000
61. 8	教 育 学 部 体 育 学 科	4	右下腿骨不全骨折	(")	25	30,000
61. 9	教 育 学 部 史 学 科	1	左鎖骨骨折	" (学校施設内)	15	30,000
"	農 学 部 農 芸 化 学 科	3	右腓骨骨折左肩関節挫傷	休憩中その他	22	30,000
61.10	農 学 部 農 芸 化 学 科	2	右示指裂創	学校行事中	7	15,000
"	教 育 学 部 体 育 学 科	2	左第5中足骨骨折 左足関節外側靱帯損傷	正 課 中	9	15,000
"	教 育 学 部 社 会 学 科	3	右眼打撲、前房出血	課 外 活 動 (学校施設内)	15	30,000

事故発生 年 月	学 部 科 学 学 科	学年	傷 病 名	事故態様	治 療 期日(日)	保険金額
61.10	教 育 学 部 科 数 学 学 科	1	前頸部打撲による右声帯内 出血・右声帯麻痺	学校行事中	15	30,000
61.11	工 学 部 科 織 維 工 学 科	3	左足根部捻挫	課 外 活 動 (学校施設外)	25	30,000
"	教 育 学 部 科 体 育 学 科	1	右腓骨末端骨折	" (学校施設内)	14	30,000
"	教 育 学 部 科 体 育 学 科	1	右大腿部打撲、左膝部捻 挫	(")	27	30,000
61.12	教 育 学 部 科 国 語 国 文 学 科	2	右大腿部挫傷及び右下腿 部挫傷	正 課 中	5	6,000
62. 1	工 学 部 科 機 械 工 学 科	1	左手首捻挫	"	5	6,000
"	農 学 部 科 林 学 学 科	1	L L C ₃ 処置歯	学校行事中	6	6,000
"	工 学 部 科 工 業 化 学 科	4	右大腿部打撲及び右大膝蓋 部打撲(血 形成)	休憩中その他	15	30,000
"	教 育 学 部 科 数 学 学 科	3	左膝部捻挫、左大腿部挫 傷	正 課 中	19	30,000
"	農 学 部 科 農 芸 化 学 科	4	右示指切創	"	4	6 000
62. 3	農 学 部 科 林 学 学 科	2	右手小指、脱きゅう骨折	学校行事中	21	30,000

保健管理センター位置図



保健管理センター
岐阜市柳戸1番1
TEL<0582>30-1111
内線 2811・2812

岐阜大学保健管理センター年報 第11号

昭和63年3月 発行

編集
発行

岐阜大学保健管理センター

岐阜市柳戸1の1